

林野庁東営宿舍 1 号棟 専有部給排水設備改修工事【2 期】

設 計 図

図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
	意 匠		機 械
A-0 1	建築工事 特記仕様書 1	M-0 1	機械設備工事 特記仕様書
A-0 2	建築工事 特記仕様書 2	M-0 2	衛生設備 配置図(改修)
A-0 3	建築工事 特記仕様書 3	M-0 3	排水設備 系統図(改修)
A-0 4	付近見取図・配置図	M-0 4	衛生設備 1・2 階平面図(改修)
A-0 5	改修範囲平面図	M-0 5	衛生設備 3・4 階平面図(改修)
A-0 6	平面詳細図・天井伏図・展開図	M-0 6	衛生設備 住戸内平面詳細図(改修)
A-0 7	外構図・雑詳細図(改修)	M-0 7	衛生設備 配置図(現況撤去)
A-0 8	外構図・雑詳細図(撤去)	M-0 8	排水設備 系統図(現況撤去)
A-0 9	仮設計画図	M-0 9	衛生設備 1・2 階平面図(現況撤去)
		M-1 0	衛生設備 3・4 階平面図(現況撤去)
		M-1 1	衛生設備 住戸内平面詳細図(現況撤去)

林 野 庁

既存排水樹リスト

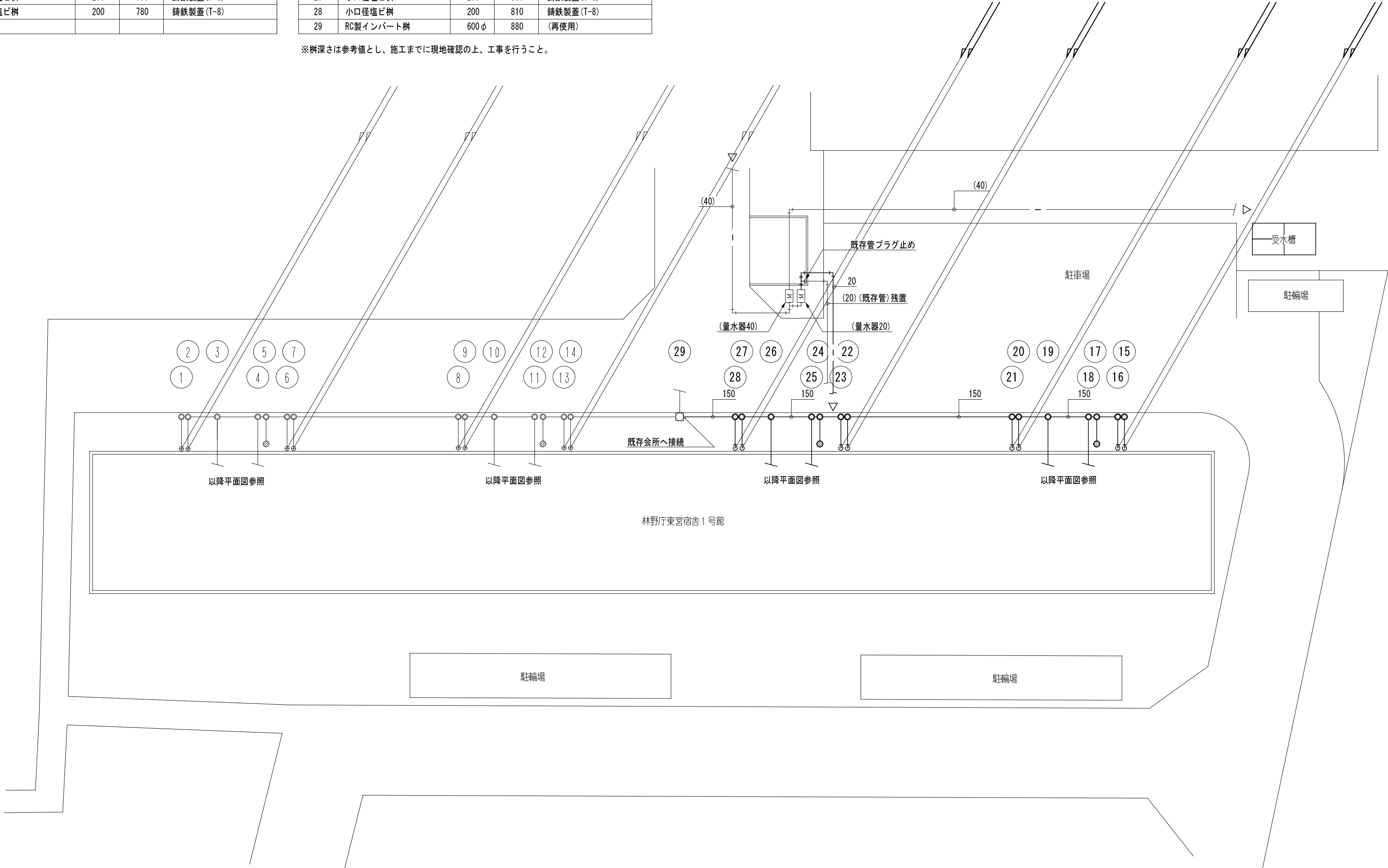
記 号	仕 様	大 き さ	実 深 さ	備 考
1	小口径塩ビ樹	200	490	鋳鉄製蓋 (T-8)
2	小口径塩ビ樹	200	500	鋳鉄製蓋 (T-8)
3	小口径塩ビ樹	200	520	鋳鉄製蓋 (T-8)
4	小口径塩ビ樹	200	550	鋳鉄製蓋 (T-8)
5	小口径塩ビ樹	200	560	鋳鉄製蓋 (T-8)
6	小口径塩ビ樹	200	580	鋳鉄製蓋 (T-8)
7	小口径塩ビ樹	200	590	鋳鉄製蓋 (T-8)
8	小口径塩ビ樹	200	670	鋳鉄製蓋 (T-8)
9	小口径塩ビ樹	200	680	鋳鉄製蓋 (T-8)
10	小口径塩ビ樹	200	700	鋳鉄製蓋 (T-8)
11	小口径塩ビ樹	200	730	鋳鉄製蓋 (T-8)
12	小口径塩ビ樹	200	740	鋳鉄製蓋 (T-8)
13	小口径塩ビ樹	200	770	鋳鉄製蓋 (T-8)
14	小口径塩ビ樹	200	780	鋳鉄製蓋 (T-8)

※1期にて改修済所

改修排水樹リスト

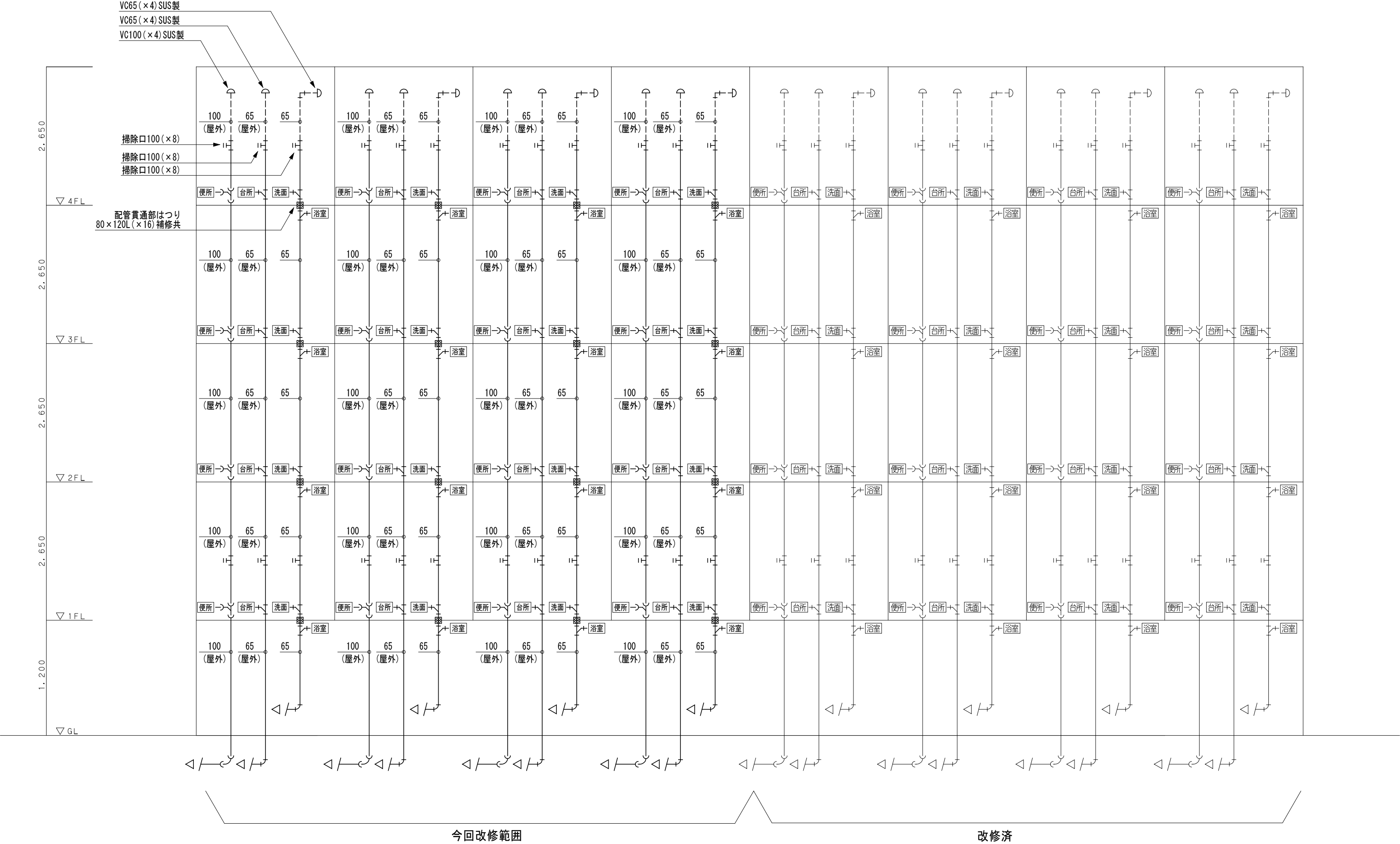
記 号	仕 様	大 き さ	実 深 さ	備 考
15	小口径塩ビ樹	200	560	鋳鉄製蓋 (T-8)
16	小口径塩ビ樹	200	570	鋳鉄製蓋 (T-8)
17	小口径塩ビ樹	200	540	鋳鉄製蓋 (T-8)
18	小口径塩ビ樹	200	530	鋳鉄製蓋 (T-8)
19	小口径塩ビ樹	200	600	鋳鉄製蓋 (T-8)
20	小口径塩ビ樹	200	630	鋳鉄製蓋 (T-8)
21	小口径塩ビ樹	200	640	鋳鉄製蓋 (T-8)
22	小口径塩ビ樹	200	710	鋳鉄製蓋 (T-8)
23	小口径塩ビ樹	200	720	鋳鉄製蓋 (T-8)
24	小口径塩ビ樹	200	750	鋳鉄製蓋 (T-8)
25	小口径塩ビ樹	200	760	鋳鉄製蓋 (T-8)
26	小口径塩ビ樹	200	780	鋳鉄製蓋 (T-8)
27	小口径塩ビ樹	200	800	鋳鉄製蓋 (T-8)
28	小口径塩ビ樹	200	810	鋳鉄製蓋 (T-8)
29	RC製インバート樹	600φ	880	(再使用)

※樹深さは参考値とし、施工までに現地確認の上、工事を行うこと。



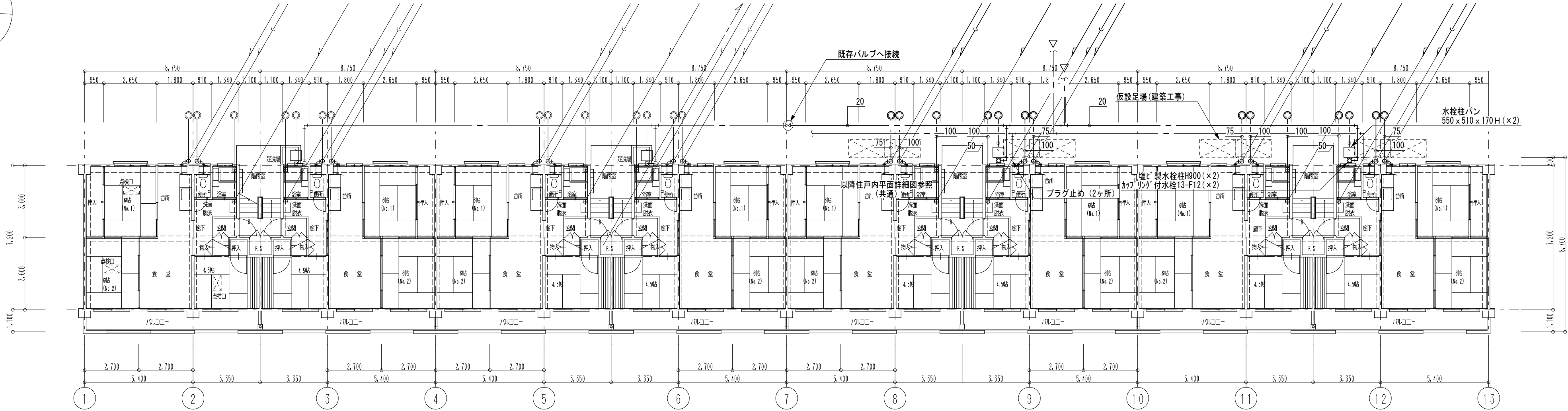
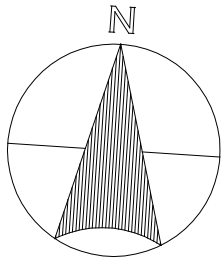
(注記) 1. 図中、細線および()は工事対象外を示す。
2. 掘削に伴う舗装仕上げ復旧は建築工事とする。
3. 親メーター50, 20 A及び親メーター1次側引込配管は工事対象外とする。
4. (細線)・・・は工事対象外とする。
5. (太線)・・・は工事対象とする。

工事名称	林野庁東営宿舍1号棟 専有部給排水設備改修工事【2期】		
図面名称	衛生設備 配置図 (改修)		
農林水産省林野庁国有林野部管理課	A 2 縮尺	1 : 2 0 0	
福利厚生室施設営繕班宿舍第2係	図面番号	M- 0 2 (2 0 枚の内)	

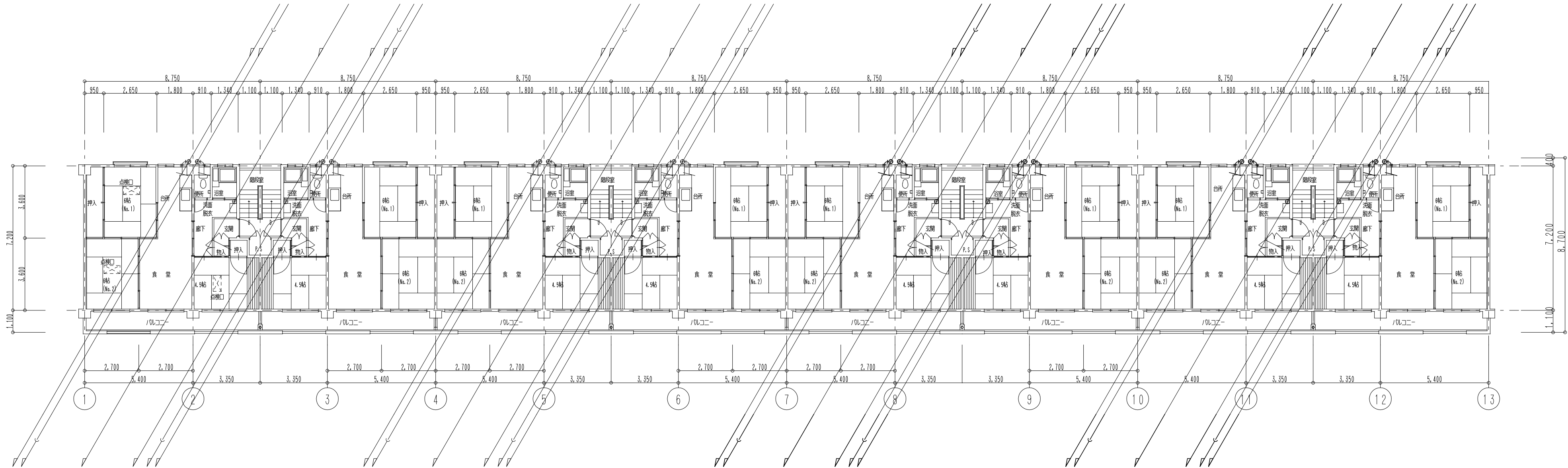


(注記) 1. 住戸内の見掛かり部及び屋外露出排水管は塗装仕上げとする。
2. (細線)は工事対象外とする。
3. (太線)は工事対象とする。

工事名称	林野庁東営宿舍 1 号棟 専有部給排水設備改修工事【2 期】		
図面名称	排水設備 系統図 (改修)		
農林水産省林野庁国有林野部管理課	A 2 縮尺	—	
福利厚生室施設営繕班宿舍第 2 係	図面番号	M- 0 3 (2 0 枚の内)	



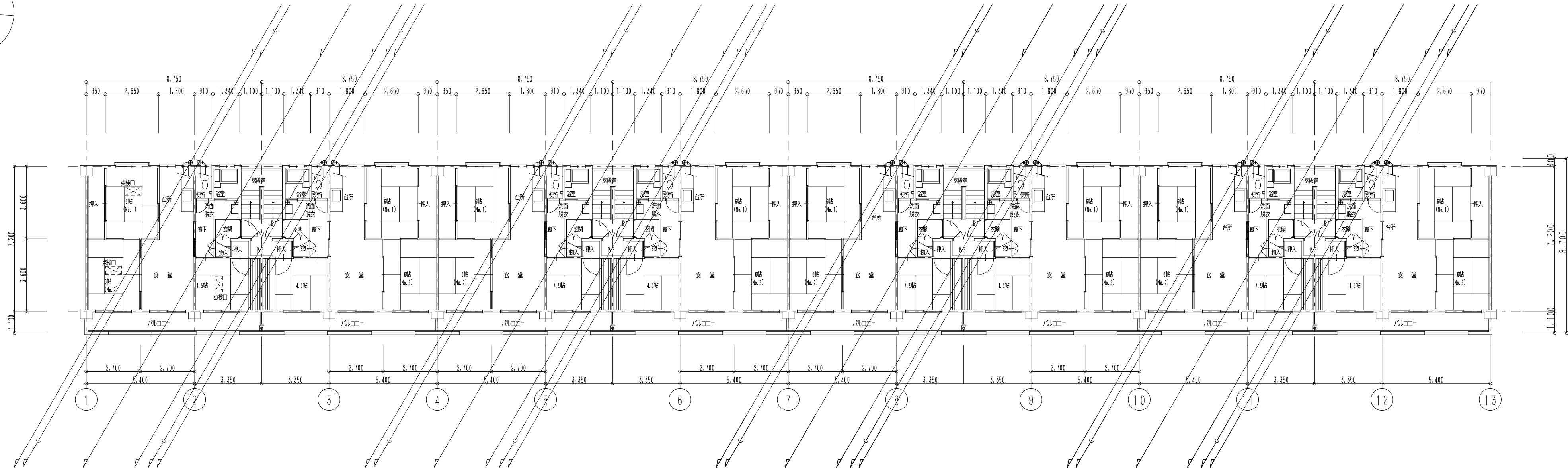
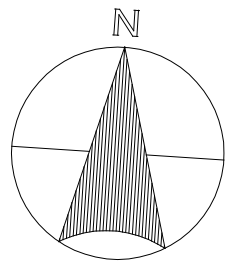
1階平面図1:150



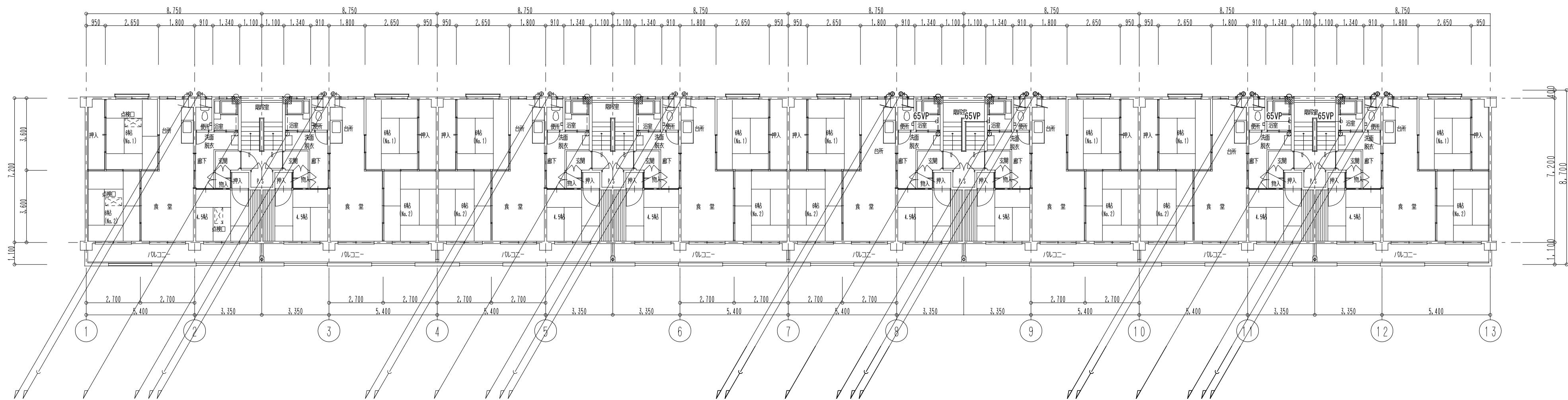
2階平面図1:150

- (注記) 1. 図中、細線および () は工事対象外を示す。
2. 図中 ▲ は既設配管との接続を示す。
3. 図中 ■■■ は既存配管スリブ、新り穴埋め補修箇所を示す。
4. 配管立管口径は系統図参照のこと。
5. (細線) は工事対象外とする。
6. (太線) は工事対象とする。
7. 図中 ☒ は足場設置箇所を示す。

工事名称	林野庁東営宿舎1号棟 専有部給排水設備改修工事【2期】		
図面名称	衛生設備 1・2階平面図 (改修)		
農林水産省林野庁国有林野部管理課	A2縮尺	1:150	
福利厚生室施設管繕班宿舎第2係	図面番号	M-04 (20枚の内)	



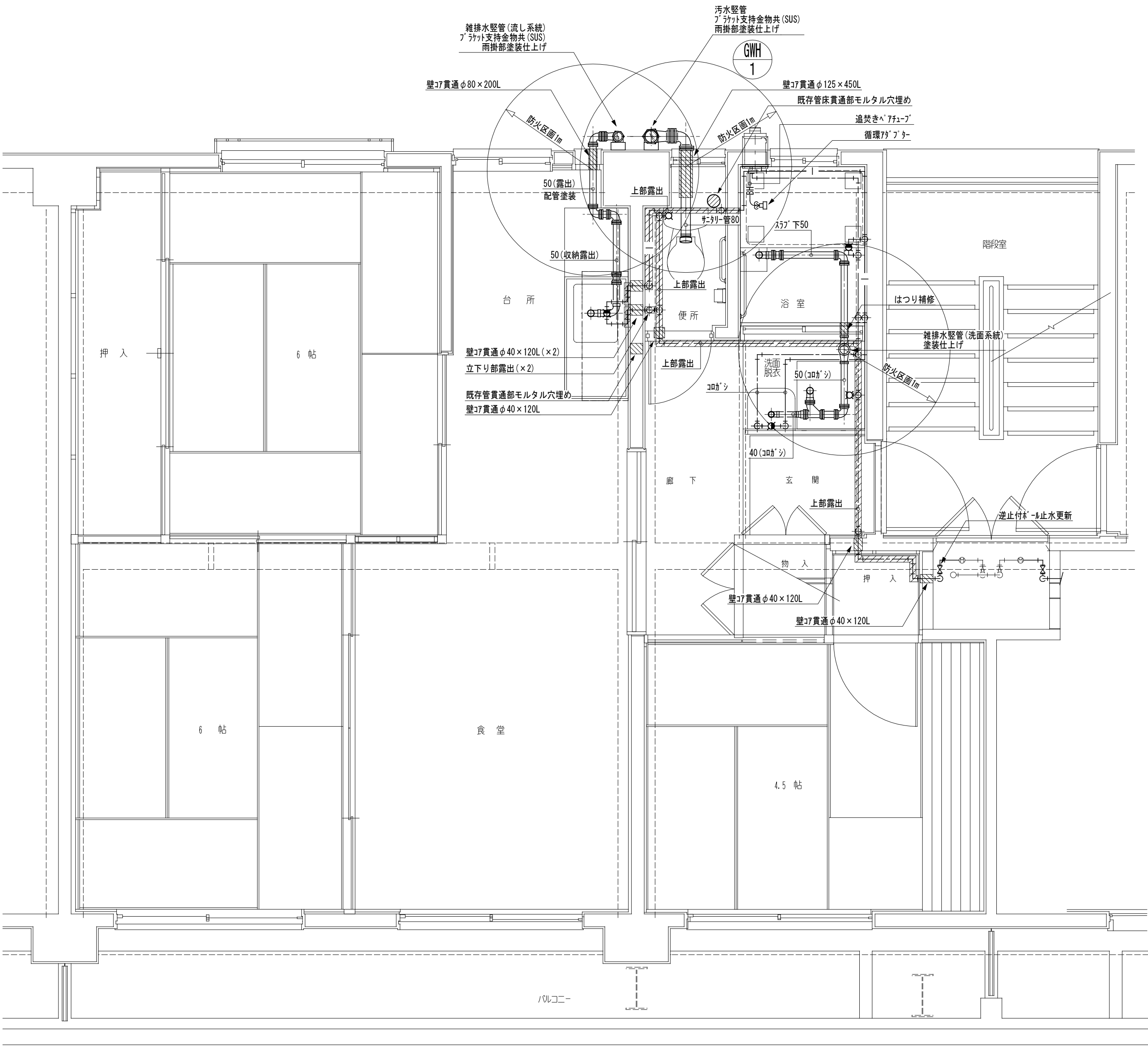
3階平面図1:150



4階平面図1:150

- (注記) 1. 図中  は配管貫通部穴埋め修繕箇所を示す。
2. 配管立管口径は系統図参照のこと。
3. (細線) は工事対象外とする。
4. (太線) は工事対象とする。

工事名称	林野庁東営宿舎1号棟 専有部給排水設備改修工事【2期】		
図面名称	衛生設備 3・4階平面図 (改修)		
農林水産省林野庁国有林野部管理課	A 2縮尺	1 : 1 5 0	
福利厚生室施設営繕班宿舎第2係	図面番号	M- 0 5 (2 0 枚の内)	



衛生器具表

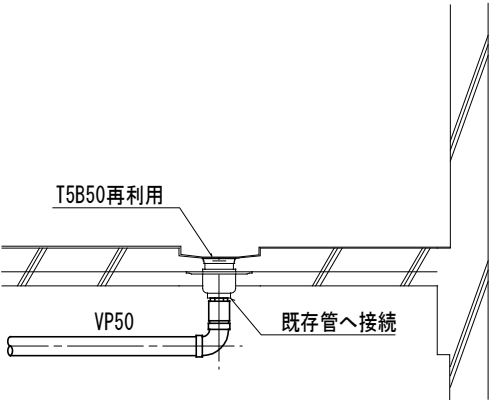
名 称	参考品番	仕 様	1階住戸	2階住戸	3階住戸	4階住戸	合 計	備 考
洋風大便器		リク式 洗浄便座	4	4	4	4	16	(再取付)
紙巻器		樹脂製	4	4	4	4	16	(再取付)
手すり (洋風便器用)		SUS製 L400	4	4	4	4	16	(再取付)
洗面化粧台			4	4	4	4	16	(再取付)
洗濯機ﾊﾝ		640×640 ｵｰｸﾞ付	4	4	4	4	16	(再取付)
洗濯機水栓	TW11R		4	4	4	4	16	
混合水栓 (洗面用)	KM17NE	2ﾊﾝﾄﾞﾙ (台付き)	4	4	4	4	16	
混合水栓 (流し用)	TKJ20BAU	2ﾊﾝﾄﾞﾙ (壁付き)	4	4	4	4	16	

機 器 表

記 号	機器名称	仕 様	1階住戸	2階住戸	3階住戸	4階住戸	合 計	備 考
GWH-1	ガス給湯器	屋外設置 (外壁貫通形) 強制排気式 能力 : 16号 (リモコン共) 都市ガス 34.9kW (給湯) 9.9kW (追焚き)	4	4	4	4	16	(既存再利用)

凡 例

名 称	図示記号	使用材	備 考
給水管	— — —	PPE (架橋ポリエチレン管 保温付き)	全て口径20A
給湯管	— —	PPE (架橋ポリエチレン管 保温付き)	全て口径20A
雑排水管	▬▬▬	DVLP (排水用硬質塩化ビニルパイプ 鋼管)、※区画貫通1m以降はVP (硬質塩化ビニル管)	見掛けり塗装仕上げ
汚水管	▬▬▬	DVLP (排水用硬質塩化ビニルパイプ 鋼管)	見掛けり塗装仕上げ



UB排水廻り参考図

専有部工程 (参考)

専有部内の工事工程は下記を参考とすること。極力工期の短縮が図れる工程とすること。
※着手前の事前調査を必ず行うこととする。

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
・浴室天井材撤去 (アスベスト材) ・建築撤去工事	・コア貫通工事 ・給水配管工事 ・給湯配管工事	・排水管工事	・下地復旧工事	・内装仕上復旧工事	・予備日

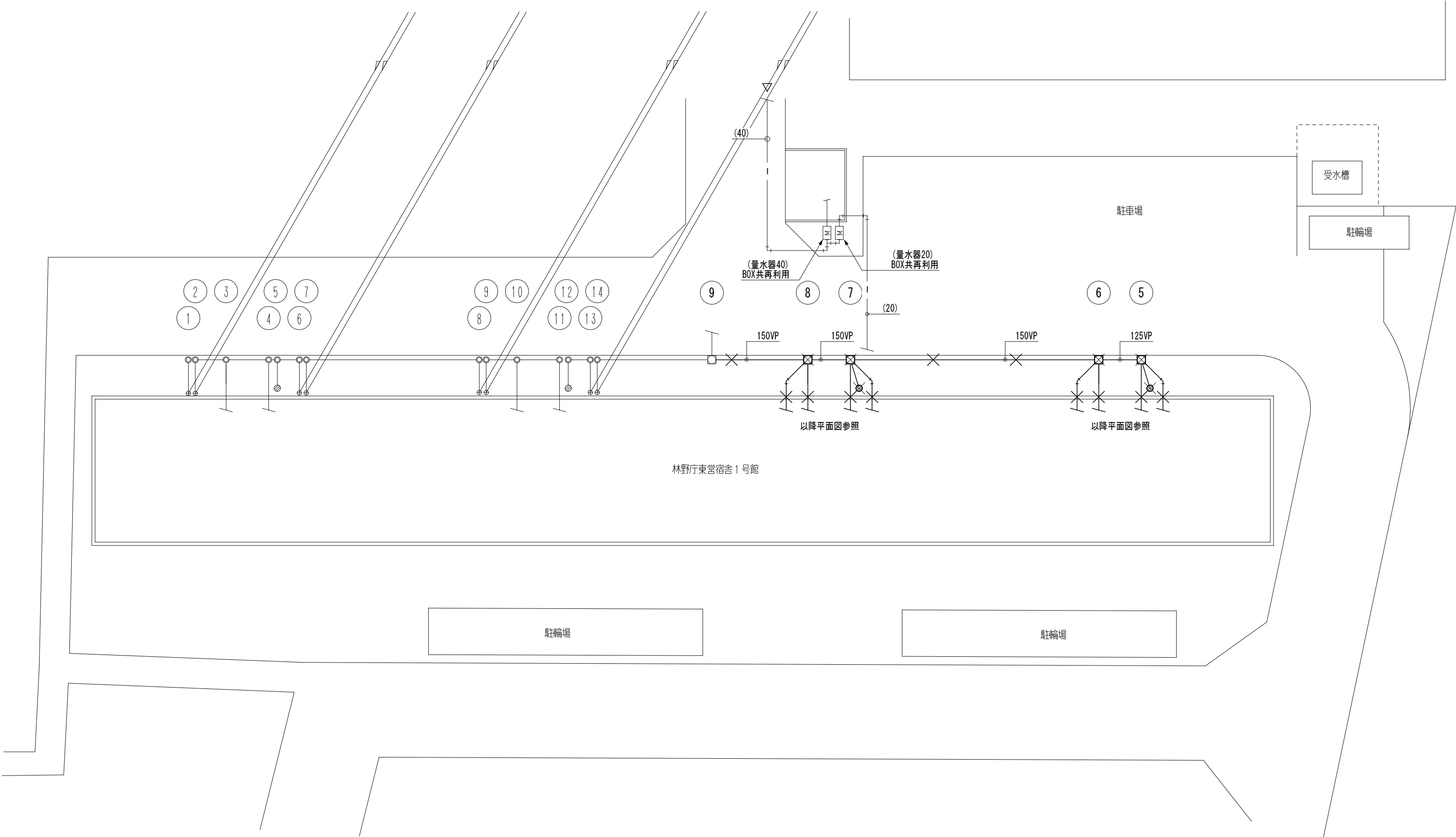
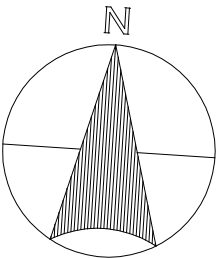
- (注記) 1. 図中 は露出配管＋リフォームダクト配管を示す。
2. 新設ダイヤ貫通部は鉄筋探査試験 (非破壊試験) を行い、鉄筋切断を避けること。
3. 洗濯ﾊﾝﾄﾞﾙ及び洋風便器はその日の作業終了後に仮復旧を行い、翌日の工事開始まで居住者が使用出来るように計画すること。
4. システムバスの水栓類の接続は建築工事とする。
5. 図中 は壁コア貫通箇所または、はつり部補修箇所を示す。

工事名称	林野庁東営宿舍 1号棟 専有部給排水設備改修工事【2期】		
図面名称	衛生設備 住戸内平面詳細図 (改修)		
農林水産省林野庁国有林野部管理課	A 2 縮尺	1 : 3 0	
福利厚生室施設営繕班宿舍第2係	図面番号	M- 0 6 (2 0 枚の内)	

排水樹リスト(撤去)

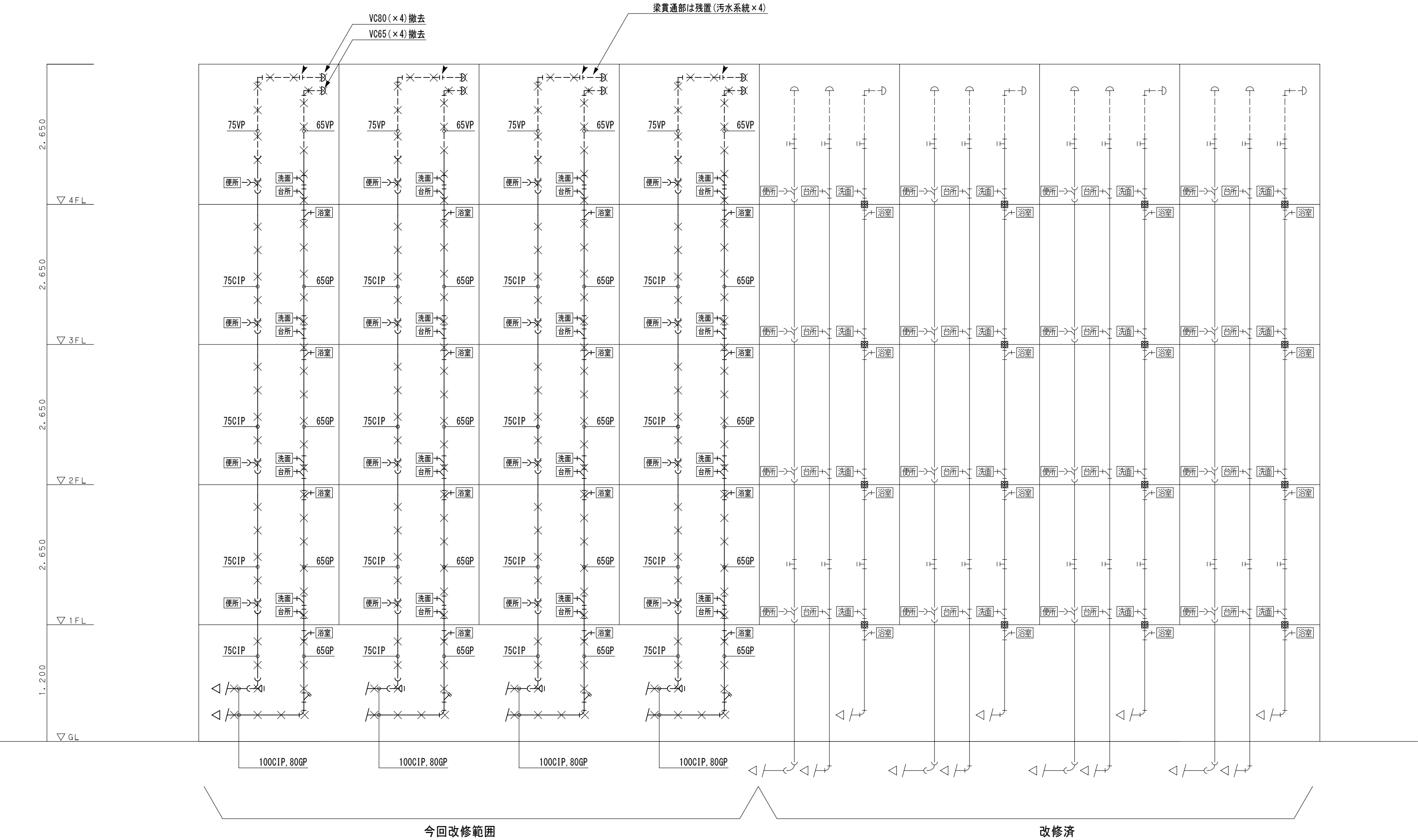
記 号	仕 様	大 き さ	深 さ	備 考
5	RC製インバート樹	400φ	570	
6	RC製インバート樹	400φ	600	
7	RC製インバート樹	400φ	750	
8	RC製インバート樹	400φ	780	
9	RC製インバート樹	600φ	880	(残置)

※樹深さは参考値とし、施工までに現地確認の上、作業を行うこと。



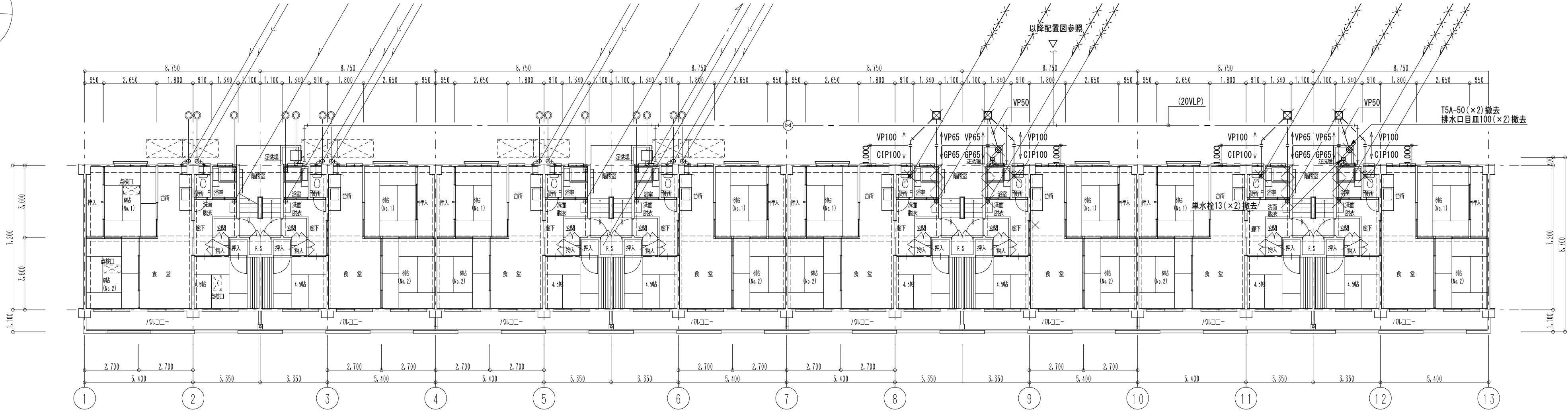
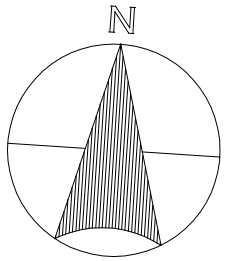
- (注記) 1. 図中 $\times\times\times$ は撤去配管を示す。
2. (細線) $\cdots$ は工事対象外とする。
3. 図中 $\blacktriangleleft$ は既設配管切断を示す。
4. 図示無き不要配管も全て撤去とする。但し、土中配管は放棄とする。
5. 新設工事に影響のある不要配管は撤去とする。

工事名称	林野庁東営宿舍1号棟 専有部給排水設備改修工事【2期】		
図面名称	衛生設備 配置図（現況撤去）		
農林水産省林野庁国有林野部管理課	A 2 縮尺	1 : 2 0 0	
福利厚生室施設営繕班宿舍第2係	図面番号	M- 0 7 (2 0 枚の内)	

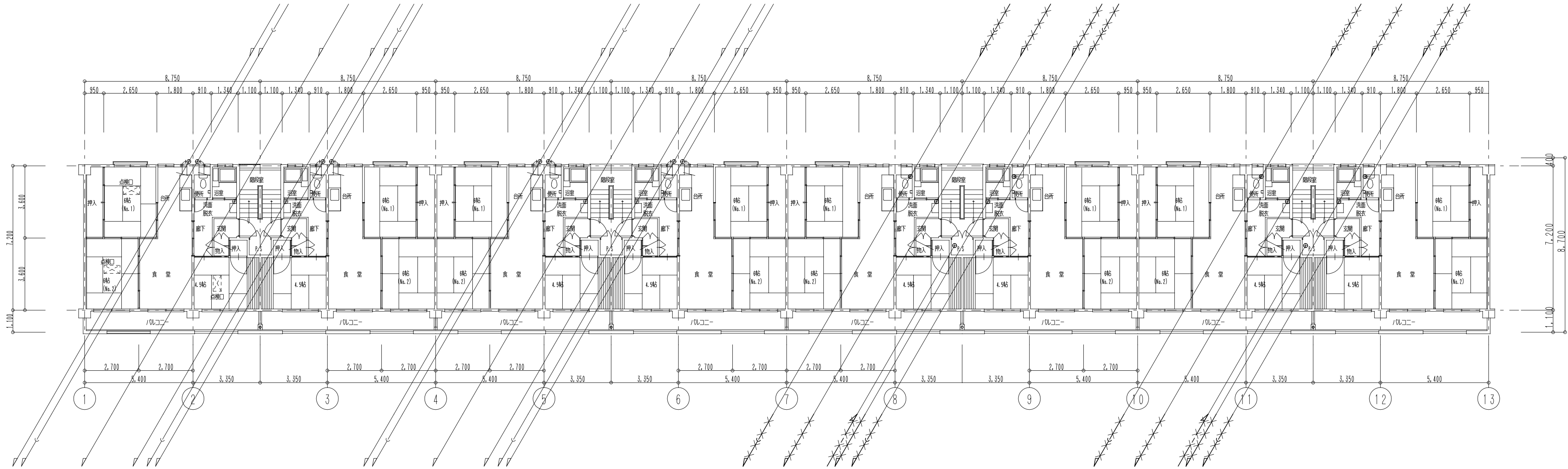


- (注記) 1. 図中 ~~×××~~ は撤去配管を示す。
2. (細線) は工事対象外とする。
3. 図中 ◀ は既設配管切断キャップ止めを示す。
4. 配管撤去後不要穴はモルタルにて復旧とする。(塗装共)
5. 図示無き不要配管も全て撤去とする。但し、土中配管は放棄とする。
6. 汚水立管は住戸内の見え掛り撤去とする。

工事名称	林野庁東営宿舍 1 号棟 専有部給排水設備改修工事【2 期】		
図面名称	衛生設備 系統図 (現況撤去)		
農林水産省林野庁国有林野部管理課	A 2 縮尺	—	
福利厚生室施設営繕班宿舍第 2 係	図面番号	M- 0 8 (2 0 枚の内)	



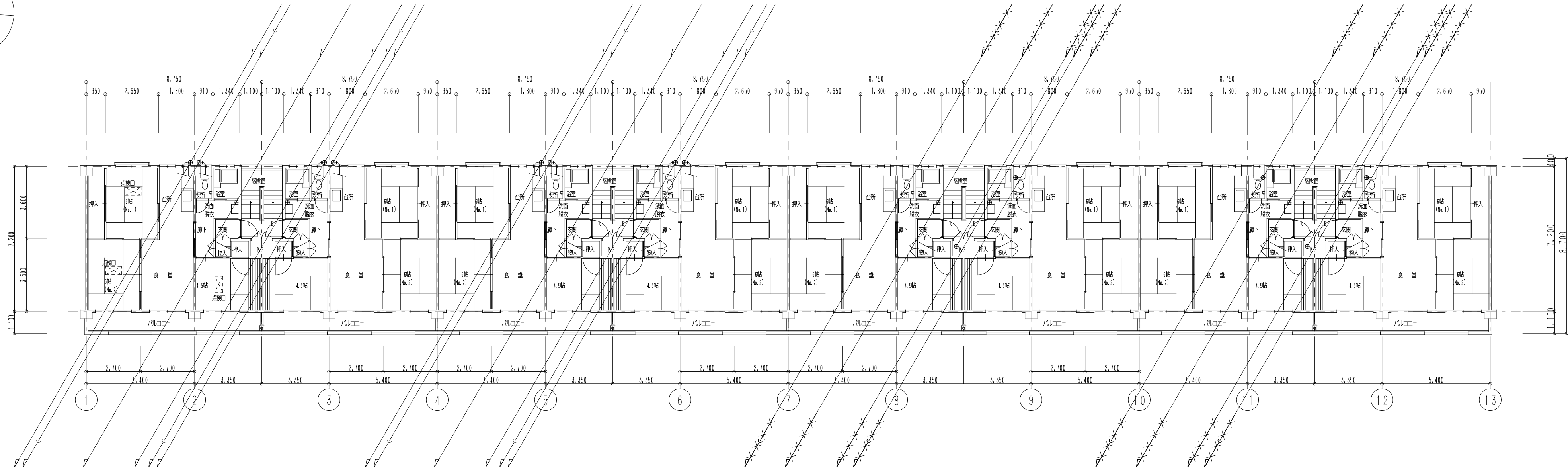
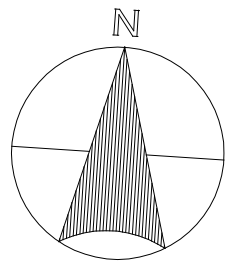
1階平面図1:150



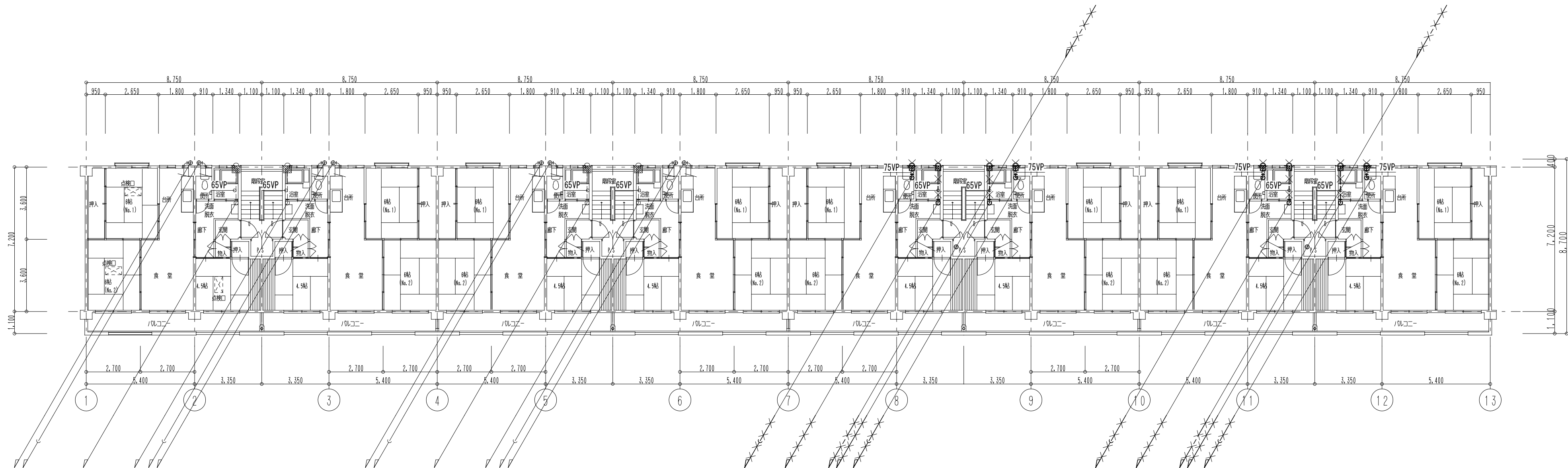
2階平面図1:150

- (注記) 1. 図中 $\times \times \times$ は撤去配管を示す。
2. 図中 〰 は梁または壁貫通箇所を示す。(梁貫通部は既存スリーブ)
3. 図中 (細線) は工事対象外を示す。
4. 配管立管図は系統図参照の図とす。
5. 図示無き不要配管も全て撤去とす。且、土中配管は放棄とする。

工事名称	林野庁東営宿舎1号棟 専有部給排水設備改修工事【2期】		
図面名称	衛生設備 1・2階平面図 (現況撤去)		
農林水産省林野庁国有林野部管理課	A 2縮尺	1 : 150	
福利厚生室施設管理課	図面番号	M-09 (20 枚の内)	



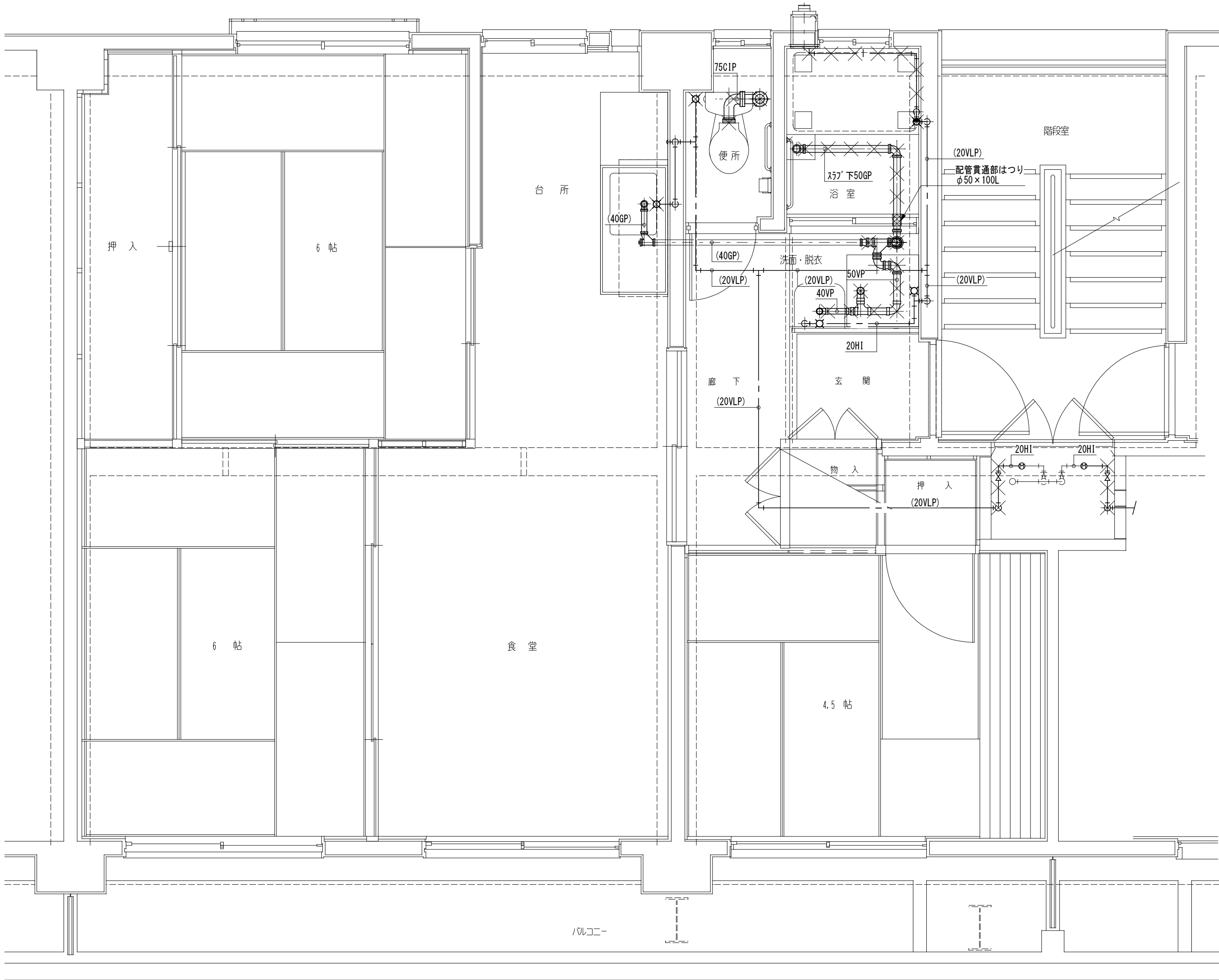
3階平面図1:150



4階平面図1:150

- (注記) 1. 図中 $\times \times \times$ は撤去配管を示す。
2. 図中 --- は既存スリーブモルタル穴埋め(外壁部は塗装補修)を表す。
3. 図中 (細線) は工事対象外を示す。
4. 配管立管口径は系統図参照のこと。
5. 図示無き不要配管も全て撤去とする。但し、土中配管は放棄とする。

工事名称	林野庁東営宿舎1号棟 専有部給排水設備改修工事【2期】		
図面名称	衛生設備 3・4階平面図 (現況撤去)		
農林水産省林野庁国有林野部管理課	A 2縮尺	1 : 150	
福利厚生室施設営繕班宿舎第2係	図面番号	M- 10 (20 枚の内)	

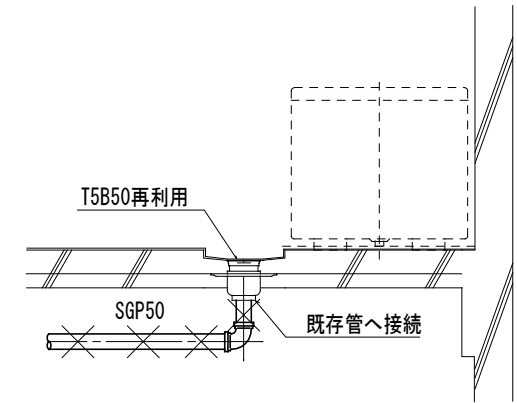


撤去衛生器具表

名 称	参考品番	仕 様	1 階 住 戸	2 階 住 戸	3 階 住 戸	4 階 住 戸	合 計	備 考
洋風大便器		リノ式 洗浄便座	4	4	4	4	16	(撤去・再取付する)
紙巻器		樹脂製	4	4	4	4	16	(撤去・再取付する)
手すり (洋風便器用)		SUS製 L400	4	4	4	4	16	(撤去・再取付する)
手すり (UB用)		SUS製 L600	4	4	4	4	16	(残置)
洗面化粧台			4	4	4	4	16	(撤去・再取付する)
洗濯機ﾊﾞﾝ		640×640 ｵｰｸﾞ 付	4	4	4	4	16	(撤去・再取付する)
浴槽	SP1172/C1R-STW	FRP製 1100×720×545H	4	4	4	4	16	(撤去・再取付する)
単水栓 (洗濯用)			4	4	4	4	16	(撤去)
単水栓 (洗面用)			4	4	4	4	16	(撤去)
単水栓 (流し用)			4	4	4	4	16	(撤去)
タオル掛け			4	4	4	4	16	(撤去・再取付する)

機 器 表

記 号	機器名称	仕 様	1 階 住 戸	2 階 住 戸	3 階 住 戸	4 階 住 戸	合 計	備 考
GW1-1	ｶﾞｽ給湯器 (GTS-164A)	屋外設置 (外壁貫通形) 強制排気式	4	4	4	4	16	(残置)
		能力 : 16号						
		都市ガス 34.9kW (給湯) 9.9kW (追焚き)						



UB排水廻り参考図

- (注記) 1. 図中 $\times\times\times$ は撤去配管を示す。
2. (細線) $\cdots$ は工事対象外とする。
3. 特記無き配管はスラブ上、ころがし配管とする。
4. 本工事に影響の無いころがし配管およびコンクリート内配管は放棄とする。
5. 配管撤去後不要穴はモルタルにて復旧とするが、露出部は配管切断とし、化粧プラグ仕舞いとする。
6. 図示無き不要配管も全て撤去とする。但し、土中配管は放棄とする。

工事名称	林野庁東営宿舍1号棟 専有部給排水設備改修工事【2期】		
図面名称	衛生設備 住戸内平面詳細図 (現況撤去)		
農林水産省林野庁国有林野部管理課	A 2 縮尺	1 : 3 0	
福利厚生室施設営繕班宿舍第2係	図面番号	M- 1 1 (2 0 枚の内)	

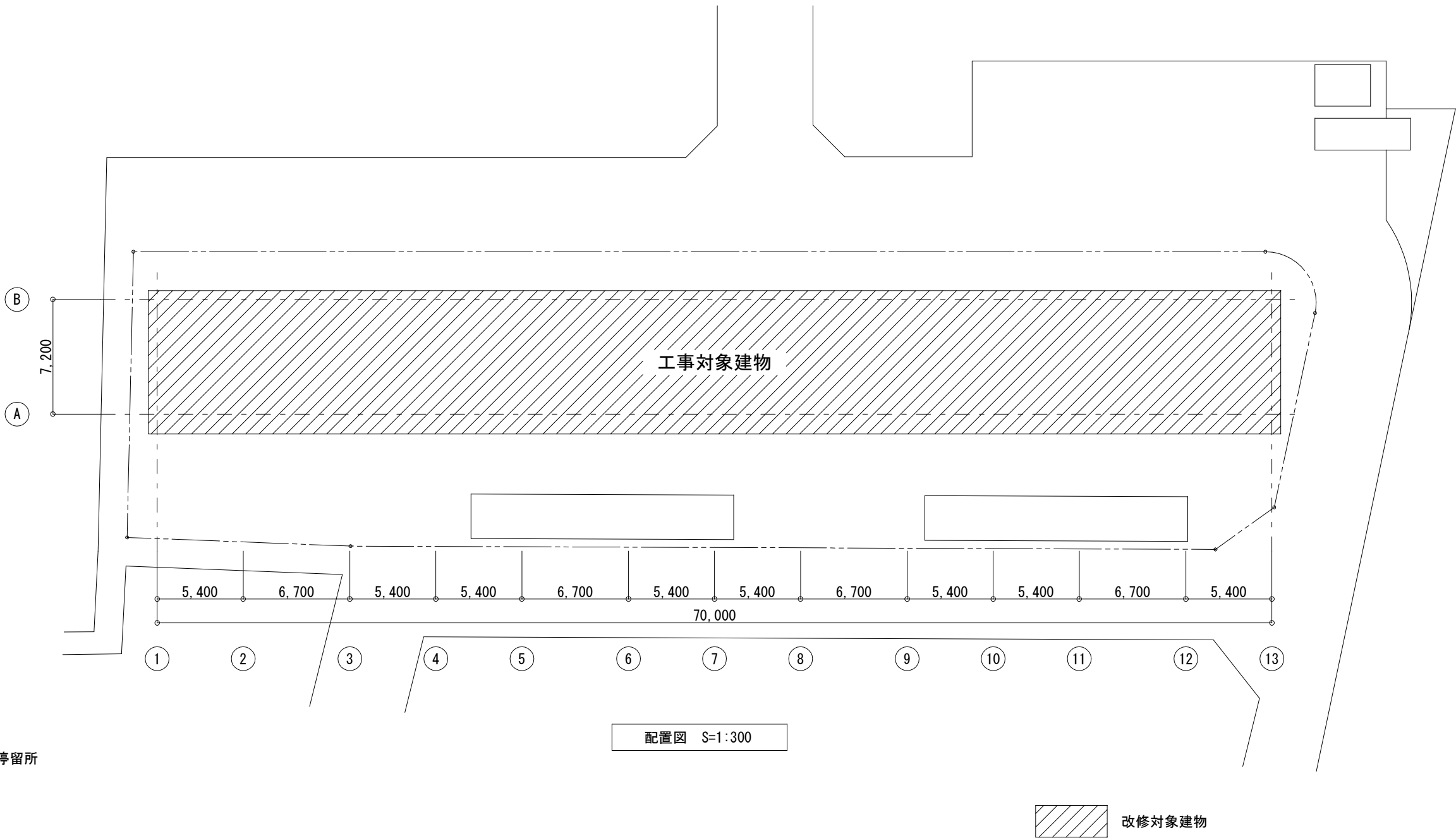
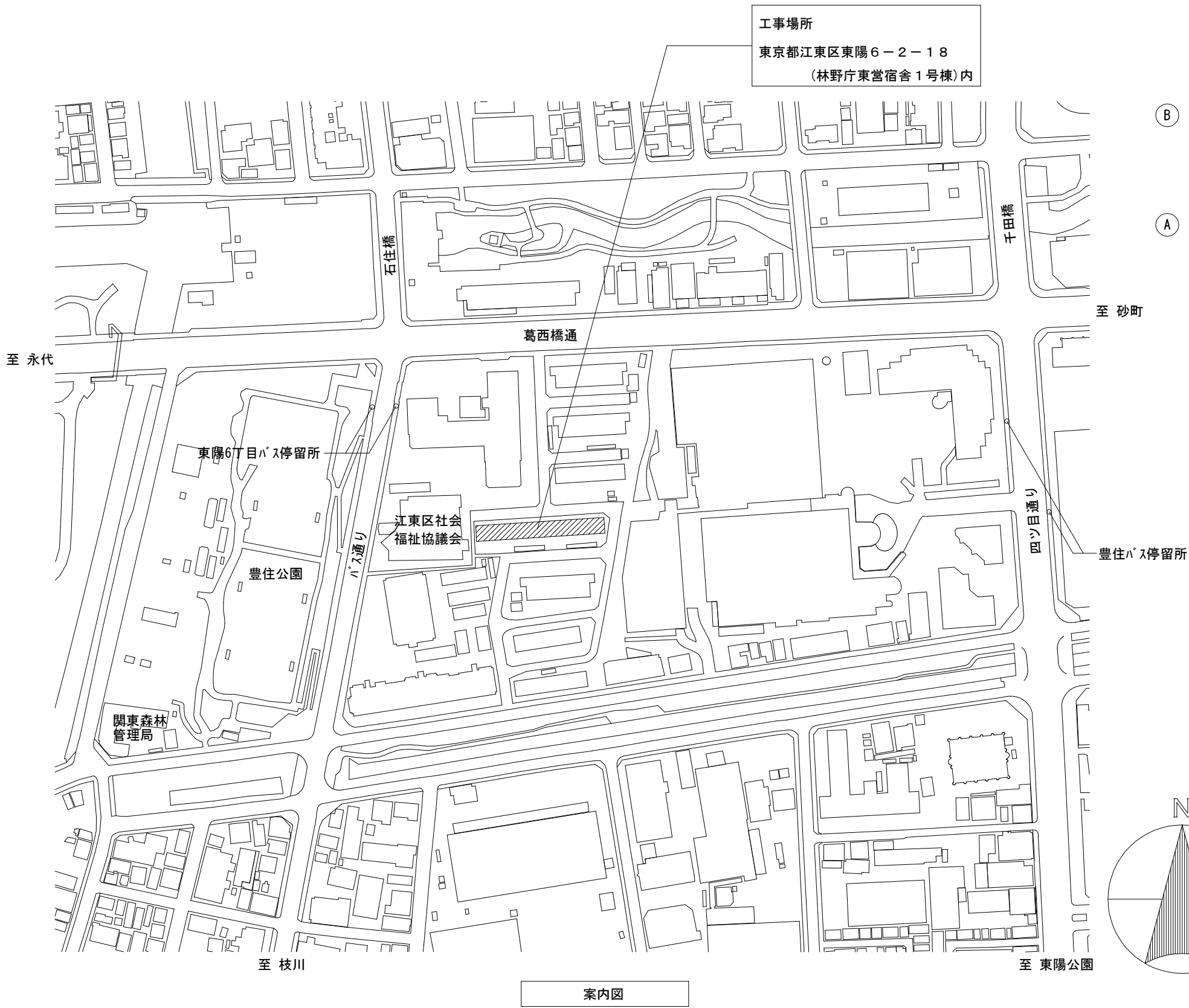
3章 防水改修工事	4 塗膜防水	[3. 6. 2～3][表3. 1. 1][表3. 6. 1] <table><tr><td>施工箇所</td><td>防水改修工法の種類</td><td>新規防水層の種類</td></tr><tr><td>共用廊下・階段屋根 2階底</td><td></td><td></td></tr><tr><td>バルコニー床・立上り</td><td></td><td></td></tr><tr><td>仕上り塗料塗り ※カラー・シルバー</td><td></td><td></td></tr></table> [3. 2. 6] 既存塗膜防水層表面の仕上り塗装（L 4 X工法の場合）・除去する	施工箇所	防水改修工法の種類	新規防水層の種類	共用廊下・階段屋根 2階底			バルコニー床・立上り			仕上り塗料塗り ※カラー・シルバー			4章 外壁改修工事	1 施工数量調査	調査範囲 ※外壁改修範囲・図示の範囲 [1. 5. 2] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上及びびタイル張り仕上については浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 塗り仕上については、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。 調査報告書の部数 ※2部・	5 仕上塗材仕上	既存塗膜の劣化部の除去及び下地処理の工法 [4. 6. 3][表4. 6. 1～4] <table><tr><td>工 法</td><td>処理範囲</td><td>下地面の補修</td></tr><tr><td>・サンダー工法</td><td>※既存仕上り面全体</td><td>・ひび割れ部改修工法</td></tr><tr><td>・高圧水洗工法</td><td>※既存仕上り面全体</td><td>・浮き部改修工法</td></tr><tr><td>加圧力※30MPa程度以上</td><td></td><td>・欠損部改修工法</td></tr><tr><td>・塗膜はく離工法</td><td>※既存仕上り面全体</td><td></td></tr><tr><td>・水洗い工法</td><td>※上記処理範囲以外 の既存仕上り面全体</td><td></td></tr></table> 塗膜はく離剤は試験施工を行い、監督職員の承諾を受ける [4. 6. 3]	工 法	処理範囲	下地面の補修	・サンダー工法	※既存仕上り面全体	・ひび割れ部改修工法	・高圧水洗工法	※既存仕上り面全体	・浮き部改修工法	加圧力※30MPa程度以上		・欠損部改修工法	・塗膜はく離工法	※既存仕上り面全体		・水洗い工法	※上記処理範囲以外 の既存仕上り面全体		5章 建具改修工事	8 木製建具	建具材の含水率・A種・B種・C種（表16. 7. 1）（16. 7. 2～3） 表面材の合板の種類 ※普通合板・天然木化粧合板・特殊化粧合板 かまち戸の樹種 かまち（ ）鏡板（ ）（16. 7. 2） フラッシュ戸の表面板の厚さ ※表16. 7. 6による・（ ） ミディアムデンシティファイバーボード（MDF） 木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外・第三種																												
	施工箇所	防水改修工法の種類	新規防水層の種類																																																																	
	共用廊下・階段屋根 2階底																																																																			
	バルコニー床・立上り																																																																			
	仕上り塗料塗り ※カラー・シルバー																																																																			
	工 法	処理範囲	下地面の補修																																																																	
	・サンダー工法	※既存仕上り面全体	・ひび割れ部改修工法																																																																	
	・高圧水洗工法	※既存仕上り面全体	・浮き部改修工法																																																																	
	加圧力※30MPa程度以上		・欠損部改修工法																																																																	
	・塗膜はく離工法	※既存仕上り面全体																																																																		
・水洗い工法	※上記処理範囲以外 の既存仕上り面全体																																																																			
5 脱気装置	脱気装置 ※設けない・設ける [3. 6. 3] [3. 3. 3][3. 4. 3][3. 5. 3] <table><tr><td>種 類</td><td>材 質</td><td>設置数量</td></tr><tr><td>・平面部脱気型</td><td>・ポリエチレン樹脂 ・ABS樹脂 ・ステンレス・铸铁</td><td>（ ） m2当たり1箇所</td></tr><tr><td>・立上がり部脱気型</td><td>・合成ゴム ・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス・銅</td><td>（ ） m2当たり1箇所</td></tr></table>	種 類	材 質	設置数量	・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂 ・ABS樹脂 ・ステンレス・铸铁	（ ） m2当たり1箇所	・立上がり部脱気型	・合成ゴム ・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス・銅	（ ） m2当たり1箇所	2 ひび割れ改修工法 （コンクリート 打放し仕上り、 モルタル塗り 仕上り、 タイル張り仕上り）	※樹脂注入工法 [4. 1. 4][4. 2. 2][4. 3. 4] ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 注入間隔 ※200～300 注入量（ ）cc/m2 注入材料 ※建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A6024 の低粘度形又は中粘度形） 検査（コア抜き） ※行わない・行う [4. 3. 4] （行う場合 抜き取り部の補修方法：（ ））	1) 下地調整材	※下地調整塗材 [4. 2. 2][4. 6. 4] ・ポリマーセメントモルタル ・防水形仕上り塗材主材を使用	9 建具用金物	標準型建具 ※5. 4. 6、5. 5. 6による・（ ） ・マスターキー ※製作する（※新規・既存に合せる）・製作しない ※シリンダー箱錠 ※レバーハンドル 材質 アルミニウム合金・ステンレス・黄銅 座金 ※丸座・長座 ※ドアクローザー 標準型建具以外の建具 ・握り玉 材質 ※ステンレス ・本締り付きモノロック 握玉の材質 ※ステンレス・黄銅 ・空錠 ※レバーハンドル 材質 アルミニウム合金・ステンレス・黄銅 座金 ※丸座・長座 ・握り玉 材質 ※ステンレス ・点検口錠（平面ハンドル錠） 材質 ※ステンレス・亜鉛合金程度 ・フロアヒンジ ・ヒンジクローザー（丁番形） ・ヒンジクローザー（（ピボット形） ・ドアクローザー 上記建具金物の製造所は評価名簿による ・グレモン錠 レバーハンドルの材質 ※亜鉛合金・ステンレス ・ピボットヒンジ カバー部の材質 ※ステンレス・亜鉛合金 ・押棒・押板 ※図示・（ ） ・アームストッパー 材質 ※鋼（クロムめっき）・ステンレス ・レール 材質 ※ステンレス・アルミニウム合金・黄銅																																																				
種 類	材 質	設置数量																																																																		
・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂 ・ABS樹脂 ・ステンレス・铸铁	（ ） m2当たり1箇所																																																																		
・立上がり部脱気型	・合成ゴム ・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス・銅	（ ） m2当たり1箇所																																																																		
6 シーリング	シーリング改修工法の種類 [3. 1. 4][表3. 1. 2] ・シーリング充てん工法・シーリング再充てん工法 ・拡幅シーリング再充てん工法・ブリッジ工法 シーリング材の種類、施工箇所 [3. 7. 2][表3. 7. 1] ※下表以外は、改修標準表3. 7. 1を標準とする <table><tr><td>施工箇所</td><td>シーリング材の種類（記号）</td></tr><tr><td>防水目地</td><td>P U－2</td></tr><tr><td>建具廻り</td><td>M S－2</td></tr></table> PCB含有シーリング調査 ・分析調査（1972年以前に施工されたポリサルファイドシーリング） （建築物解体工事共通仕様書による） ブリッジ工法 [3. 7. 7] ボンドブレイカー張り・適用 エッジング材張り・適用 シーリング材の試験 [3. 7. 8] 接着性試験・適用 ※簡易接着性試験	施工箇所	シーリング材の種類（記号）	防水目地	P U－2	建具廻り	M S－2	3 欠損部改修工法 （コンクリート 打放し仕上り、 モルタル塗り 仕上り、 タイル張り仕上り）	※充填工法 [4. 1. 4][4. 2. 2][4. 3. 7] ・エポキシ樹脂モルタル・ポリマーセメントモルタル ・モルタル塗替え工法 [4. 4. 2][4. 4. 9] 塗り厚25mmを超える場合の補強 [4. 4. 9] ・行う・行わない ※図示 既製目地材 [4. 2. 2] ・適用する 形状 ※図示・（ ）	2) 仕上塗材仕上	・薄付け仕上塗材 [4. 1. 5][4. 2. 2][表4. 2. 4] <table><tr><td colspan="4">[4. 1. 5][4. 2. 2][表4. 2. 4]</td></tr><tr><td>呼び名</td><td>仕上りの形状</td><td>工 法</td><td>備 考</td></tr><tr><td>・複層塗材 C E</td><td rowspan="3">・ゆず肌状</td><td rowspan="3">ローラー</td><td rowspan="3">上塗材 ※水系7リットル艶有り ・水系8リットル</td></tr><tr><td>・可とう形複層塗材 C E</td></tr><tr><td>・複層塗材 S i</td></tr><tr><td>・複層塗材 E</td><td rowspan="2">・凸部処理 凹凸模様</td><td rowspan="2">吹付け</td><td rowspan="2">艶有り ・（ ）</td></tr><tr><td>※複層塗材 R E</td></tr><tr><td>・防水形複層塗材 C E</td><td rowspan="3">・ゆず肌状</td><td rowspan="3">ローラー</td><td rowspan="3">上塗材 水系8リットル</td></tr><tr><td>・防水形複層塗材 E</td></tr><tr><td>・防水形複層塗材 R E</td></tr><tr><td>・防水形複層塗材 R S</td><td>凹凸模様</td><td>吹付け</td><td>艶有り</td></tr></table>	[4. 1. 5][4. 2. 2][表4. 2. 4]				呼び名	仕上りの形状	工 法	備 考	・複層塗材 C E	・ゆず肌状	ローラー	上塗材 ※水系7リットル艶有り ・水系8リットル	・可とう形複層塗材 C E	・複層塗材 S i	・複層塗材 E	・凸部処理 凹凸模様	吹付け	艶有り ・（ ）	※複層塗材 R E	・防水形複層塗材 C E	・ゆず肌状	ローラー	上塗材 水系8リットル	・防水形複層塗材 E	・防水形複層塗材 R E	・防水形複層塗材 R S	凹凸模様	吹付け	艶有り	10 自動ドア	開閉装置の性能値 [5. 8. 2][表5. 8. 1][表5. 8. 2][表5. 8. 3] スライディングドア用 ※表5. 8. 1による・図示 スイングドア用 ※表5. 8. 2による・図示 駆動力 ※電気式又は油圧式・（ ） 電源 ※単相100V（過電流保護装置付）・（ ） センサーの種類 ※光線（反射）スイッチ・（ ） 工事範囲：一次側配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次側配線は 本工事に含む ・凍結防止措置（適用箇所は建具表による） [5. 8. 3]																										
施工箇所	シーリング材の種類（記号）																																																																			
防水目地	P U－2																																																																			
建具廻り	M S－2																																																																			
[4. 1. 5][4. 2. 2][表4. 2. 4]																																																																				
呼び名	仕上りの形状	工 法	備 考																																																																	
・複層塗材 C E	・ゆず肌状	ローラー	上塗材 ※水系7リットル艶有り ・水系8リットル																																																																	
・可とう形複層塗材 C E																																																																				
・複層塗材 S i																																																																				
・複層塗材 E	・凸部処理 凹凸模様	吹付け	艶有り ・（ ）																																																																	
※複層塗材 R E																																																																				
・防水形複層塗材 C E	・ゆず肌状	ローラー	上塗材 水系8リットル																																																																	
・防水形複層塗材 E																																																																				
・防水形複層塗材 R E																																																																				
・防水形複層塗材 R S	凹凸模様	吹付け	艶有り																																																																	
7 とい	といの材種 [3. 8. 2][表3. 8. 1] ※配管用鋼管・硬質塩化ビニル管 ・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管（REP-VU） ルーフドレン [3. 8. 2][表3. 8. 2] とい受金物 [3. 8. 2][表3. 8. 3] 防露材 [3. 8. 2][表3. 8. 4] 鋼管製といの防露 [3. 8. 2～3][表3. 8. 5] ・次の箇所は行わない（ ） ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド の放散量 ※規制対象外・第三種 掃除口 ※有り・無し 縦どい受金物の取付け [3. 8. 3] ※図示・標準13. 5. 3（d）（2）による	4 浮き部改修工法 （モルタル塗り 仕上り、タイル 張り仕上り）	・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4. 4. 10] <table><tr><td>アンカーピン の本数 （本/㎡）</td><td>注入口の箇所数 （箇所/㎡）</td><td>充てん量</td></tr><tr><td>一般部</td><td>指定部</td><td>一般部</td></tr><tr><td>※16</td><td>※25</td><td>※25ml</td></tr></table> ・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [4. 4. 11] <table><tr><td>アンカーピン の本数 （本/㎡）</td><td>注入口の箇所数 （箇所/㎡）</td><td>充てん量</td></tr><tr><td>一般部</td><td>指定部</td><td>一般部</td></tr><tr><td>※13</td><td>※20</td><td>※20</td></tr><tr><td>※20</td><td>※25ml</td><td></td></tr></table> ・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [4. 4. 12] <table><tr><td>アンカーピン の本数 （本/㎡）</td><td>注入口の箇所数 （箇所/㎡）</td><td>充てん量</td></tr><tr><td>一般部</td><td>指定部</td><td>一般部</td></tr><tr><td>※13</td><td>※20</td><td>※20</td></tr><tr><td>※20</td><td>※50ml</td><td></td></tr></table> ・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4. 4. 13] <table><tr><td>アンカーピン の本数 （本/㎡）</td><td>注入口の箇所数 （箇所/㎡）</td><td>充てん量</td></tr><tr><td>一般部</td><td>指定部</td><td>一般部</td></tr><tr><td>※9</td><td>※16</td><td>※16</td></tr><tr><td>※16</td><td>※25ml</td><td></td></tr></table> ・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [4. 4. 14] <table><tr><td>アンカーピン の本数 （本/㎡）</td><td>注入口の箇所数 （箇所/㎡）</td><td>充てん量</td></tr><tr><td>一般部</td><td>指定部</td><td>一般部</td></tr><tr><td>※9</td><td>※16</td><td>※9</td></tr><tr><td>※16</td><td>※16</td><td>※25ml</td></tr></table> [4. 4. 15] ・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカーピン の本数 （本/㎡） 注入口の箇所数 （箇所/㎡） 充てん量 一般部 指定部 一般部 指定部 注入量 ※9 ※16 ※9 ※16 ※50ml	アンカーピン の本数 （本/㎡）	注入口の箇所数 （箇所/㎡）	充てん量	一般部	指定部	一般部	※16	※25	※25ml	アンカーピン の本数 （本/㎡）	注入口の箇所数 （箇所/㎡）	充てん量	一般部	指定部	一般部	※13	※20	※20	※20	※25ml		アンカーピン の本数 （本/㎡）	注入口の箇所数 （箇所/㎡）	充てん量	一般部	指定部	一般部	※13	※20	※20	※20	※50ml		アンカーピン の本数 （本/㎡）	注入口の箇所数 （箇所/㎡）	充てん量	一般部	指定部	一般部	※9	※16	※16	※16	※25ml		アンカーピン の本数 （本/㎡）	注入口の箇所数 （箇所/㎡）	充てん量	一般部	指定部	一般部	※9	※16	※9	※16	※16	※25ml	5 改修工法	・かぶせ工法・撤去工法 [5. 1. 3]	11 重量シャッター	[5. 10. 2～4] <table><tr><td>シャッターの種類</td><td>耐風圧強度</td></tr><tr><td>・一般重量シャッター</td><td>（ ）N/㎡</td></tr></table> 開閉機能 ※上部電動式（手動併用）・上部手動式 危害防止機構 ※障害物感知装置（自動閉鎖型）・シャッターの二段降下方式 一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける・設けない 電動式の場合の電源 ※三相200V 0. 75kw以下（過電流保護装置付） 工事範囲：一次側配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次側配線は 本工事に含む	シャッターの種類	耐風圧強度	・一般重量シャッター	（ ）N/㎡
アンカーピン の本数 （本/㎡）	注入口の箇所数 （箇所/㎡）	充てん量																																																																		
一般部	指定部	一般部																																																																		
※16	※25	※25ml																																																																		
アンカーピン の本数 （本/㎡）	注入口の箇所数 （箇所/㎡）	充てん量																																																																		
一般部	指定部	一般部																																																																		
※13	※20	※20																																																																		
※20	※25ml																																																																			
アンカーピン の本数 （本/㎡）	注入口の箇所数 （箇所/㎡）	充てん量																																																																		
一般部	指定部	一般部																																																																		
※13	※20	※20																																																																		
※20	※50ml																																																																			
アンカーピン の本数 （本/㎡）	注入口の箇所数 （箇所/㎡）	充てん量																																																																		
一般部	指定部	一般部																																																																		
※9	※16	※16																																																																		
※16	※25ml																																																																			
アンカーピン の本数 （本/㎡）	注入口の箇所数 （箇所/㎡）	充てん量																																																																		
一般部	指定部	一般部																																																																		
※9	※16	※9																																																																		
※16	※16	※25ml																																																																		
シャッターの種類	耐風圧強度																																																																			
・一般重量シャッター	（ ）N/㎡																																																																			
8 アルミニウム製 笠木	部材の種類 [3. 9. 2][表3. 9. 1] ・押し出し175形・押し出し300形・押し出し350形 ・板折曲げ形 本体幅 mm 厚さ※2mm 表面処理 [3. 9. 2][表5. 2. 2] ※A－1種又はB－1種・（ ） ・隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による [3. 9. 2] ・固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの [3. 9. 3] 笠木の下地補修 [3. 9. 3] ・行う 工法 ※図示	5章 建具改修工事	5 網戸	※外面納まりの可動式・内部納まりの開き式 [5. 2. 3] 網の種類 ※ガラス繊維入り合成樹脂製・合成樹脂製・ステンレス製	2 アルミニウム製 建具	[5. 2. 2～4][表5. 2. 1～2] <table><tr><td>種 別</td><td>外部に面する建具</td><td>内部建具</td></tr><tr><td>※普通サッシ</td><td>・A種・B種・C種</td><td></td></tr><tr><td>・防音サッシ</td><td>遮音性の等級（ ）</td><td></td></tr><tr><td>・断熱サッシ</td><td>断熱性の等級（ ）</td><td></td></tr><tr><td>表面処理</td><td>※B－1種・B－2種</td><td>※C－1種・C－2種</td></tr></table>	種 別	外部に面する建具	内部建具	※普通サッシ	・A種・B種・C種		・防音サッシ	遮音性の等級（ ）		・断熱サッシ	断熱性の等級（ ）		表面処理	※B－1種・B－2種	※C－1種・C－2種	12 軽量シャッター	[5. 11. 2][表5. 11. 1] 開閉形式 ※手動式・上部電動式（手動併用） [5. 11. 2] スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき銅板 [5. 11. 3] ・塗装溶融55%Zn-ニッケル-亜鉛合金めっき銅板 [5. 11. 4] スラット 形状 ※インターロック形・オーバーラップ形 [表5. 11. 2] ガイドレール等 ※溶融亜鉛めっき銅板製・ステンレス製SUS304（厚さ1. 5mm） 耐風圧強度 （ ）N/㎡ [5. 11. 2] 電源 ※単相100V（過電流保護装置付） 工事範囲：一次側配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次側配線は 本工事に含む																																													
種 別	外部に面する建具	内部建具																																																																		
※普通サッシ	・A種・B種・C種																																																																			
・防音サッシ	遮音性の等級（ ）																																																																			
・断熱サッシ	断熱性の等級（ ）																																																																			
表面処理	※B－1種・B－2種	※C－1種・C－2種																																																																		
9 保証書の提出	防水工事は責任施工とし、保証書を防水工事施工者及び請負者の 連名にて提出する（保証期間は10年間とする）	5章 建具改修工事	6 鋼製建具	[5. 4. 2～6][表5. 4. 1][表5. 2. 1] <table><tr><td>種 別</td><td>簡易気密型ドアットの性能</td><td>外部に面する建具の耐風圧性</td></tr><tr><td>・標準型建具</td><td>気密性 A－3 水密性 W－1</td><td>・S－4・S－6 ・S－5</td></tr></table> [5. 5. 2][5. 2. 2][5. 5. 3] <table><tr><td>種 別</td><td>簡易気密型ドアットの気密性の性能</td><td>戸の銅板</td></tr><tr><td>・標準型建具</td><td>気密性 A－3 水密性 W－4 耐風圧性・S－4・S－5</td><td>※溶融亜鉛めっき銅板 ・ビニル被覆銅板 ・カラー銅板</td></tr></table> 召合せ縦小口包み板の材質 ※建具製作所の仕様による	種 別	簡易気密型ドアットの性能	外部に面する建具の耐風圧性	・標準型建具	気密性 A－3 水密性 W－1	・S－4・S－6 ・S－5	種 別	簡易気密型ドアットの気密性の性能	戸の銅板	・標準型建具	気密性 A－3 水密性 W－4 耐風圧性・S－4・S－5	※溶融亜鉛めっき銅板 ・ビニル被覆銅板 ・カラー銅板	7 鋼製軽量建具																																																			
種 別	簡易気密型ドアットの性能	外部に面する建具の耐風圧性																																																																		
・標準型建具	気密性 A－3 水密性 W－1	・S－4・S－6 ・S－5																																																																		
種 別	簡易気密型ドアットの気密性の性能	戸の銅板																																																																		
・標準型建具	気密性 A－3 水密性 W－4 耐風圧性・S－4・S－5	※溶融亜鉛めっき銅板 ・ビニル被覆銅板 ・カラー銅板																																																																		
10 事後調査	・行う・行わない 工事完了後、施工箇所の事後調査を指示に従って実施する	アンカーピン [4. 2. 2] 材質 ※ステンレスSUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り 加工したもの 注入口付アンカーピン [4. 2. 2] 材質 ※ステンレスSUS304、呼び径外径6mm																																																																		

工事名称	林野庁東営宿舍 1号棟 専有部給排水設備改修工事【2期】		
図面名称	建築工事 特記仕様書 2		
農林水産省林野庁国有林野部管理課	A 2 縮尺	－	
福利厚生室施設管理課	図面番号	A－0 2（ 2 0 枚の内）	

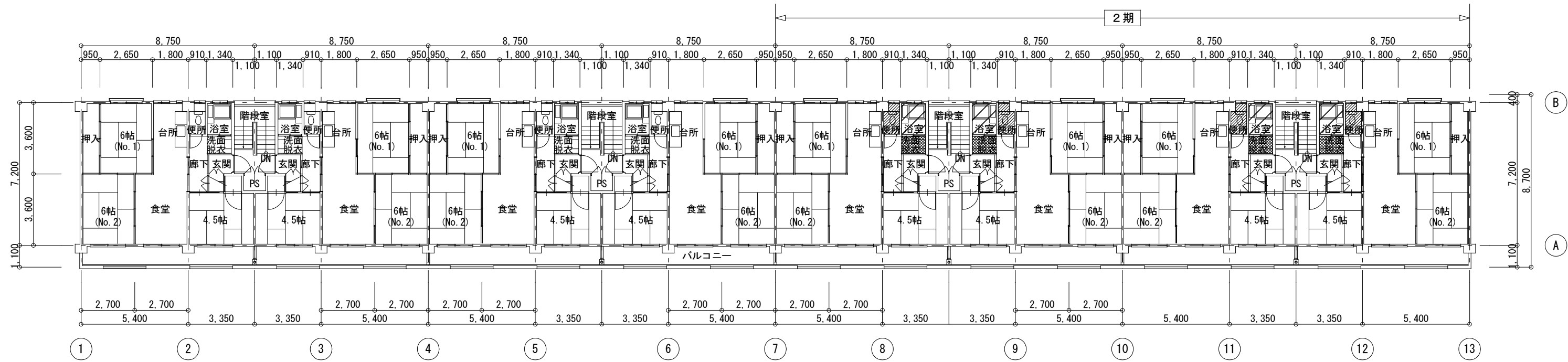
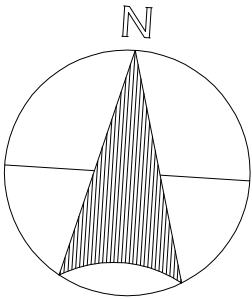
7章 塗装改修工事	① 材料	ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	[7. 1. 3]	7章 塗装改修工事	7 耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面耐候性塗料塗り ・ A種 ・ B種 ・ C種 上塗り塗料 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	[7. 8. 2][表7. 8. 1]	10 耐震スリット 新設工事	スリット ・ 幅 () スリット ・ 深さ () 耐火材 ・ 使用箇所 () 耐火材 ・ 仕様 () 遮音材 ・ 使用箇所 () 遮音材 ・ 仕様 () 既存撤去部分の補修 ※撤去材と同一材で補修	[8. 25. 2]	9章 環境配慮改修工事	3 アスベスト含有 保温材等の処理	・ 作業場の隔離	[9. 1. 4]	
		防火材料 ※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とし、建築基準法に基づく 基材同等の認定表示のあるものとする			亜鉛めっき鋼面耐候性塗料塗り ・ A種 ・ B種 ・ C種	[7. 8. 3][表7. 8. 2]			4 アスベスト含有 成形板の除去	処分 ○ 埋立処分 ・ アスベストの中間処理に適する溶融施設 ・ 認定を受けた無害化処理施設		[9. 1. 5]			
		2 下地調整	既存塗膜の除去範囲(塗替えでR B種の場合) ※塗替え面積で30%とする ・ 図示		[7. 2. 1][表7. 2. 1～7]	コンクリート面、押出成形セメント板面 ・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種	[7. 8. 4][表7. 8. 3]		11 免震改修工事	支承材・減衰材の材質 支承材・減衰材の諸元 製品検査 ・ 項目 製品検査 ・ 内容 製品検査 ・ 判定基準 製品検査 ・ 検査頻度 支承材・減衰材の設置 ・ 防錆処置 支承材・減衰材の設置位置の寸法許容差 ・ mm 別置き支承材・減衰材 ・ 適用 ・ 不適用 別置き支承材・減衰材 ・ 種類 別置き支承材・減衰材 ・ 形状 別置き支承材・減衰材 ・ 寸法 別置き支承材・減衰材 ・ 数量 別置き支承材・減衰材 ・ 設置条件 R C造・S R C造(既存部分) 割製補強筋 ・ 適用 ・ 不適用 支承材・減衰材の仕上げ ・ mm 支承材への耐火被覆 ・ 適用 ・ 不適用 支承材への耐火被覆の仕様 ・ mm 免震エキスパンションジョイントの仕様 ・ mm 免震エキスパンションジョイントの工法 ・ mm 検査 ・ 項目 検査 ・ 数量 維持管理要領 ・ 項目 維持管理に必要な計測機器等の設置 ・ 有 ・ 無 維持管理に必要な計測機器等の仕様 ・ mm		[8. 26. 7] [8. 26. 10] [8. 26. 13] [8. 26. 14] [8. 26. 15] [8. 26. 16] [8. 26. 17]	5 外断熱改修工事	断熱材の種類 厚さ mm 外装材の種類 () 防火性能 () 既存外壁の処置 既存外壁の仕上材の撤去 ・ 有り ・ なし 下地面の清掃 ・ 有り ・ なし 断熱材を設置する部分の下地に欠損部がある場合の改修 ・ 有り ・ なし 通気層 ・ 有り (厚 mm) ・ なし 断熱材の施工 ※断熱材製造所の指定する仕様 建築基準法に基づき定まる風圧力に対する工法 外装材の施工 ・ 有り ・ なし	[9. 3. 2] [9. 3. 3]
		木部の下地調整	[7. 2. 2][表7. 2. 1]		8 つや有合成樹脂 エマルション ペイント塗り (EP-G)	[7. 9. 2] [表7. 9. 1]			6 ガラス改修工事	複層ガラスの厚さ 建具表による 断熱性・日射遮へい性による区分 ※U 3－1・U 3－2		[9. 3. 4] [9. 4. 2]			
		鉄鋼面の下地調整	[7. 2. 3][表7. 2. 2]		屋内の木部 新規 ※A種 ・ B種 ・ C種 塗替え ・ A種 ※B種 ・ C種	[7. 9. 3][表7. 9. 2]			7 断熱・防露 改修工事	断熱材打込み工法 断熱材の種類 () 厚さ mm フェノールフォーム保温材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※A種 1 (難燃性有) ・ mm 吹き付け厚さ mm 断熱材後張り工法 断熱材の種類 () 厚さ mm		[9. 5. 2] [9. 5. 3] [9. 5. 4]			
		亜鉛めっき鋼面の下地調整	[7. 2. 4][表7. 2. 3]		10 合成樹脂 エマルション 模様塗料塗り (E P-T)	[7. 10. 2] [表7. 10. 1]			8 屋上緑化改修 工事	芝及び地被類の種類等 ※図示 緑材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示 風圧力に対応した固定工法 ※図示 かん水装置の設置及び種類 ※図示 既存保護層等の撤去 ・ 有り ・ なし 新植芝及び地被類の枯補償期間 ※1年 ・ 年		[9. 6. 2] [9. 6. 3] [9. 6. 4]			
		モルタル、プaster面の下地調整	[7. 2. 5][表7. 2. 4]		11 ウレタン樹脂 ワニス塗り (UC)	[7. 12. 2][表7. 12. 1]	12 制震改修工事		既存鉄骨の撤去範囲 既存鉄骨の撤去方法 既存鉄骨の処置 減衰材の材質 減衰材の諸元 性能確認試験の項目 性能確認試験の数量 製品検査 ・ 項目 製品検査 ・ 内容 製品検査 ・ 判定基準 製品検査 ・ 検査頻度 減衰材の設置 ・ 防錆処置 減衰材の設置位置の寸法許容差 ・ mm R C造・S R C造(既存部分) 割製補強筋 ・ 適用 ・ 不適用 S 造(既存部分) 割製補強筋 ・ 適用 ・ 不適用 減衰材設置後の仕上げ ・ mm 検査 ・ 項目 検査 ・ 数量	[8. 27. 2] [8. 27. 4] [8. 27. 6] [8. 27. 8] [8. 27. 9]		9 透水性アスファ ルト舗装改修工事	既存舗装の撤去 ・ 有り ・ なし ・ 既存舗装の一部を撤去しないで再利用する ※図示 凍上抑制層及びフィルター層の材料 凍上抑制層 ※再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切り込み砂利 ・ 砂 厚さは図示 フィルター層 厚さ 車道部 ※150mm 歩道部 ※50mm 路床安定処理 ・ 適用 ・ 不適用 安定処理方法 ※添加剤による方法 厚300mm 目標CBR5以上 盛土に用いる材料 [9. 7. 3][表9. 7. 1] 路床安定処理用添加材料 [9. 7. 3][表9. 7. 3] 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 (・ 特号 ・ 1号) ・ 消石灰 (・ 特号 ・ 1号) ジオテキスタイル ・ 適用 ・ 不適用 品質 発生土の処理 ※構外搬出適切処理 路床土の支持力比試験 ・ 行う ・ 行わない 路床締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない 砂の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない 路盤 厚さ 車道部 ※150mm 歩道部 ※100mm 路盤材料 ・ 碎石 ・ 再生材クラッシュラン ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ 路盤の締固め度試験 ・ 適用 ・ 不適用 舗装の厚さ 車道部 ※50mm 歩道部 ※30mm 舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの 舗装の材料(アスファルト) 車道部 ※ポリマー改質アスファルトⅠ型 歩道部 ※ストレータアスファルト 透水性アスファルト混合物の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない	[9. 7. 2] [9. 7. 3] [9. 7. 4] [9. 7. 5] [9. 7. 6] [9. 7. 9]	
		ひび割れ部の補修 ・ 行う (面の処理) ・ 行わない (R C種の場合)	[表7. 2. 4]		12 ラッカーエナメル 塗り (LE)	[7. 13. 2][表7. 13. 1]	13 基礎工事		既存杭の撤去範囲 既存杭の撤去方法 既存杭の杭頭部等の処理 既存杭の補強 既存杭の健全性を確認する試験 ・ 行う ・ 行わない 埋戻し及び盛土の材料及び工法 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	[8. 27. 3]					
		・ R A種 ※R B種 ・ R C種			13 木材保護塗料 塗り (WP)	[7. 15. 2][表7. 15. 1]									
		3 錆止め塗料塗り	鉄鋼面錆止め塗料の種類別 [7. 3. 2][表7. 3. 1] ※A種 (屋外・屋内) ・ B種 (屋内) 亜鉛めっき鋼面錆止め塗料の種類別 [7. 3. 2][表7. 3. 2] ※A種 (屋外・屋内) ・ B種 (屋外・屋内) ・ C種 (屋内) 鉄鋼面錆止め塗料塗り [7. 3. 3][表7. 3. 3] 新規 (見え掛り部分) ※A種 ・ B種 ・ C種 新規 (見え隠れ部分) ・ A種 ※B種 ・ C種 塗替えの場合 ・ A種 ・ B種 ※C種 亜鉛めっき鋼面錆止め塗料塗り [7. 3. 3][表7. 3. 4] 鋼製建具等 ※A種 ・ B種 ・ C種 塗替えの場合 ・ A種 ・ B種 ※C種 新規鋼製建具等 ※A種 ・ B種 ・ C種		[7. 3. 2][表7. 3. 1] [7. 3. 2][表7. 3. 2] [7. 3. 3][表7. 3. 3] [7. 3. 3][表7. 3. 4]	8章 耐震改修工事	1 現場打ち鉄筋 コンクリート壁 の増設工事 既存部分の撤去等 既存仕上げの撤去範囲 ・ ※本工事に支障となる最小限の範囲を撤去し 既存構造体を露出させる。 工事に支障となる設備機器、配管等の撤去及び移設 ・ 減衰材設置後の撤去範囲 ・ はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置 ・ 2 既存部分の処理 打ち継ぎ面となる範囲の既存構造体コンクリート面に、 目荒らしを行う。 目荒らしの程度 ・ 3 鉄筋の加工 及び組立 既存部との取合い部分 割製補強筋 ・ 仕様 4 コンクリートの 打込み 工法 ・ 流し込み工法 ・ 圧入工法 5 既存構造体 との取合い 既存構造体と増設壁との取合いの処理方法 処理方法 ・ 6 仕上げ 増設壁工事後の仕上げ 仕上げ ・ 7 鉄骨ブレース の設置工事 既存構造体との取合い 割製補強筋 ・ 仕様 ブレース設置工事後の仕上げ ・ 仕様 8 柱補強工事 溶接金網巻き工法・溶接閉鎖フープ巻き工法 コンクリート又はグラウト材 ・ 厚さ () 打ち込み工法 ・ 流し込み工法 ・ 圧入工法 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 柱頭、柱脚の隙間 ・ 設ける ・ 設けない 補強工事後の仕上げ ・ () 9 連続繊維補強 工事 ひび割れ部の改修工法 ・ 樹脂注入工法 柱の隅角部の面取り ・ 大きさ () 補強工事後の仕上げ ・ ()		[8. 21. 2] [8. 21. 3] [8. 21. 6] [8. 21. 8] [8. 21. 9] [8. 21. 10] [8. 22. 7] [8. 22. 9] [8. 23. 5] [8. 23. 6] [8. 23. 7] [8. 24. 4] [8. 24. 5]	9章 環境配慮改修工事		① アスベスト含有 建材の処理工事 アスベスト含有建材の封じ込め処理工事 ○ 行う ・ 行わない アスベスト含有建材の囲い込み処理工事 ・ 行う ○ 行わない 分析によるアスベスト含有の調査 JIS A 1481(建材製品中のアスベスト含有率測定方法) ・ 行う ○ 行わない アスベスト粉じん濃度測定 ○ 行う ・ 行わない 2 アスベスト含有 吹付け材の除去 工法 ※ 除去工法 ・ 封じ込め工法 ・ 囲い込み工法 処理 ※ 密封処理 アスベスト含有吹付け材を溶融固化する施設 ・ アスベストの中間処理に適する溶融施設 ・ 認定を受けた無害化処理施設	[9. 1. 1] [9. 1. 3]		
4 合成樹脂調合 ペイント塗り (SOP)	塗料 ※1種 木部合成樹脂調合ペイント塗り [7. 4. 3][表7. 4. 1] 新規 (外部) ※A種 ・ B種 ・ C種 新規 (内部) ・ A種 ※B種 ・ C種 多孔質広葉樹以外 塗替えの場合 (内部) ・ A種 ※B種 ・ C種 塗替えの場合 (外部) ・ A種 ※B種 ・ C種 工程2・4は除く 鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗り [7. 4. 4][表7. 4. 2] ・ A種 ※B種 ・ C種 亜鉛めっき鋼面合成樹脂調合ペイント塗り [7. 4. 5][表7. 4. 3] 鋼製建具塗替え ※A種 ・ B種 ・ C種 その他の塗替え ・ A種 ※B種 ・ C種 新規に塗る ・ A種 ※B種 ・ C種	[7. 4. 3][表7. 4. 1] [7. 4. 4][表7. 4. 2] [7. 4. 5][表7. 4. 3]													
5 クリヤラッカー 塗り (CL)	木部 ・ A種 ※B種	[7. 5. 2][表7. 5. 1]													
6 アクリル樹脂系 非水分散形 塗料 (NAD)	屋内のコンクリート面、モルタル面 ・ A種 ※B種	[7. 7. 2][表7. 7. 1]													
工事名称 林野庁東営宿舍1号棟 専有部給排水設備改修工事【2期】															
図面名称 建築工事 特記仕様書3															
農林水産省林野庁国有林野部管理課										A 2 縮尺		—			
福利厚生室施設整備補班宿舍第2係										図面番号		A-03 (20 枚の内)			

設計概要

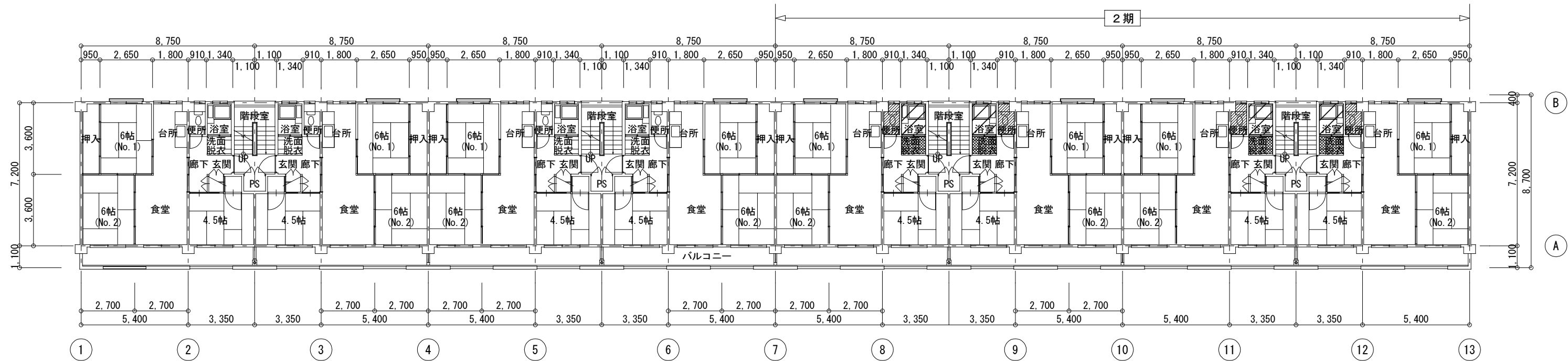
工事名称	林野庁東営宿舍 1 号棟 専有部給排水設備改修工事【2 期】
工事場所	東京都江東区東陽 6－2－1 8 (林野庁東営宿舍 1 号棟) 内
工事概要	○建築工事
	洗面室：床改修、便所：壁改修、浴室：天井改修
	○機械設備工事
	給排水衛生設備改修
工期	契約確定の日から令和 年 月 日まで



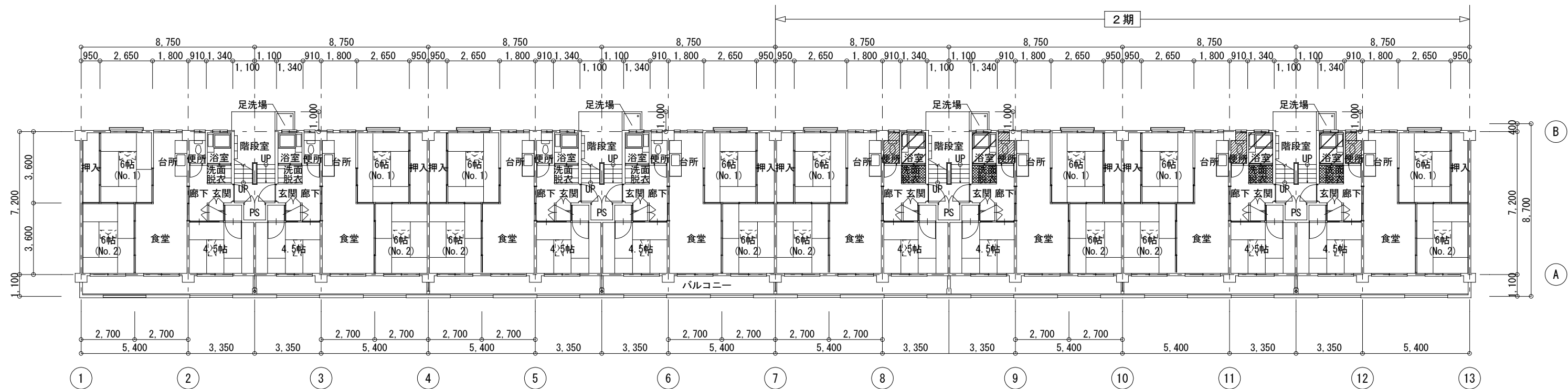
工事名称	林野庁東営宿舍 1 号棟 専有部給排水設備改修工事【2 期】		
図面名称	付近見取図・配置図		
農林水産省林野庁国有林野部管理課	A 2 縮尺	1 : 3 0 0	
福利厚生室施設営繕班宿舍第 2 係	図面番号	A－0 4 (2 0 枚の内)	



4階平面図 S=1:200



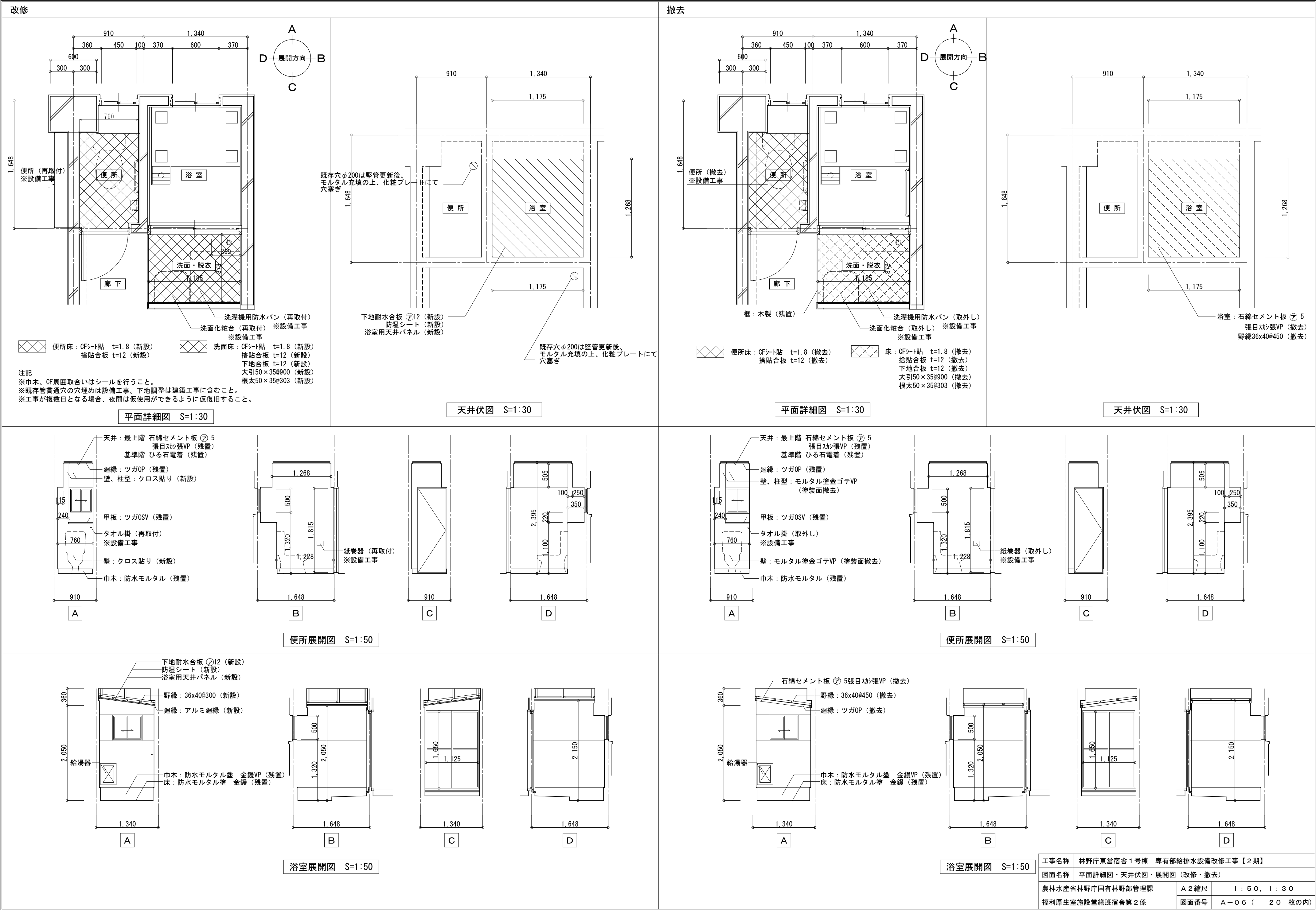
2,3階平面図 S=1:200

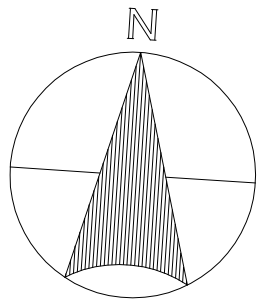


1階平面図 S=1:200

改修範囲	
・ 便所	・ 床・壁改修
・ 洗面脱衣	・ 床改修
・ 浴室	・ 天井改修

工事名称	林野庁東営宿舍1号棟 専有部給排水設備改修工事【2期】		
図面名称	改修範囲平面図		
農林水産省林野庁国有林野部管理課	A 2縮尺	1 : 2 0 0	
福利厚生室施設営繕班宿舍第2係	図面番号	A-05 (20 枚の内)	





B

A

7,200

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

5,400

6,700

5,400

5,400

6,700

5,400

5,400

6,700

5,400

5,400

6,700

5,400

5,400

6,700

5,400

外構図 S=1:200

工事対象建物

既存L型側溝(残置)

GL±0

GL+100

7,650

2,400

2,200

500

7,682

8,182

37,250

15,300

2,200

7,230

2,670

36,950

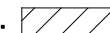
2,890

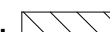
1,840

水槽
水槽

ポンプ室

凡例

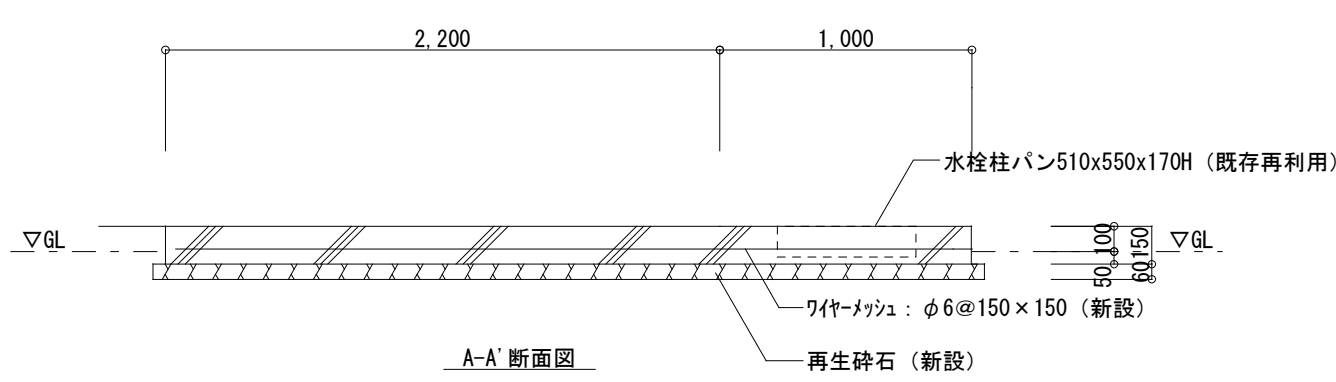
・  アスファルト舗装復旧範囲

・  土間コンクリート復旧範囲

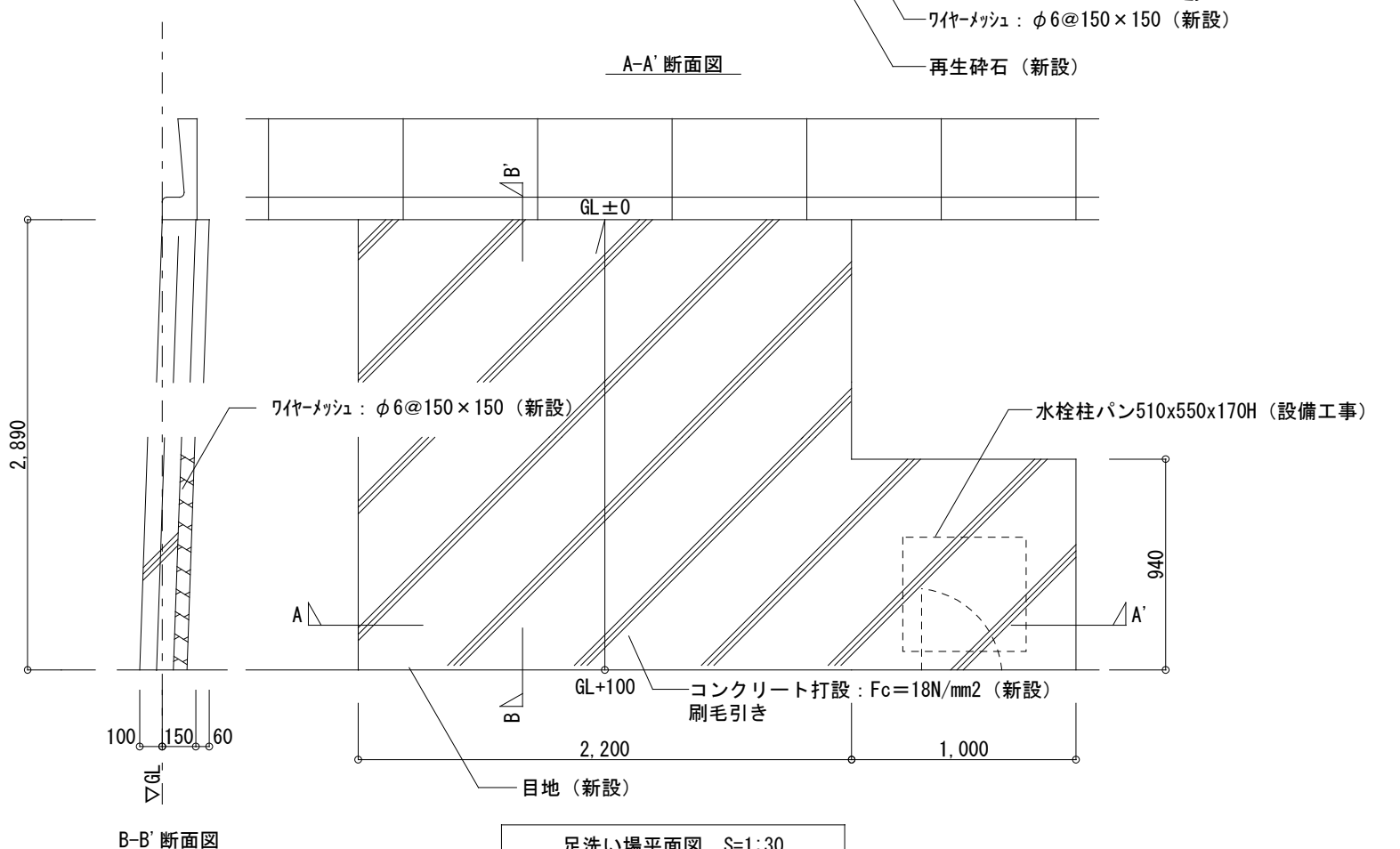
・  区画ライン引き

・  区画番号

※区画番号は監督職員に確認すること

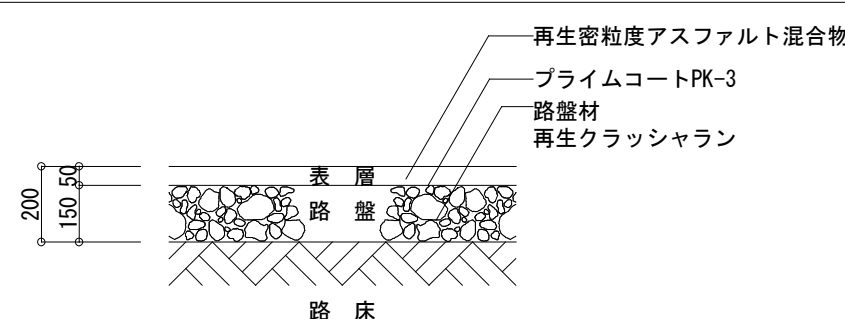


A-A'断面図

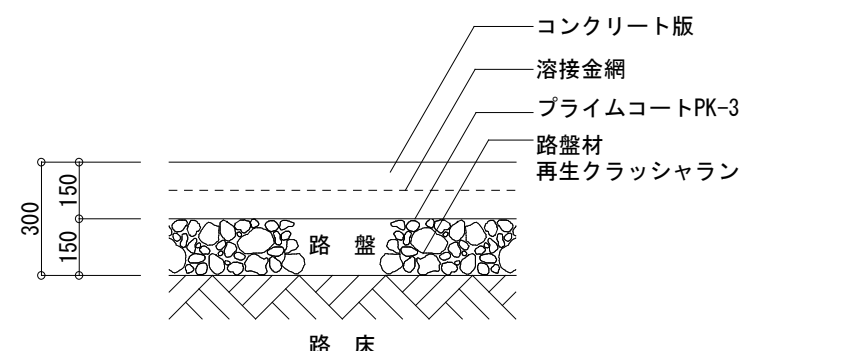


B-B'断面図

足洗い場平面図 S=1:30



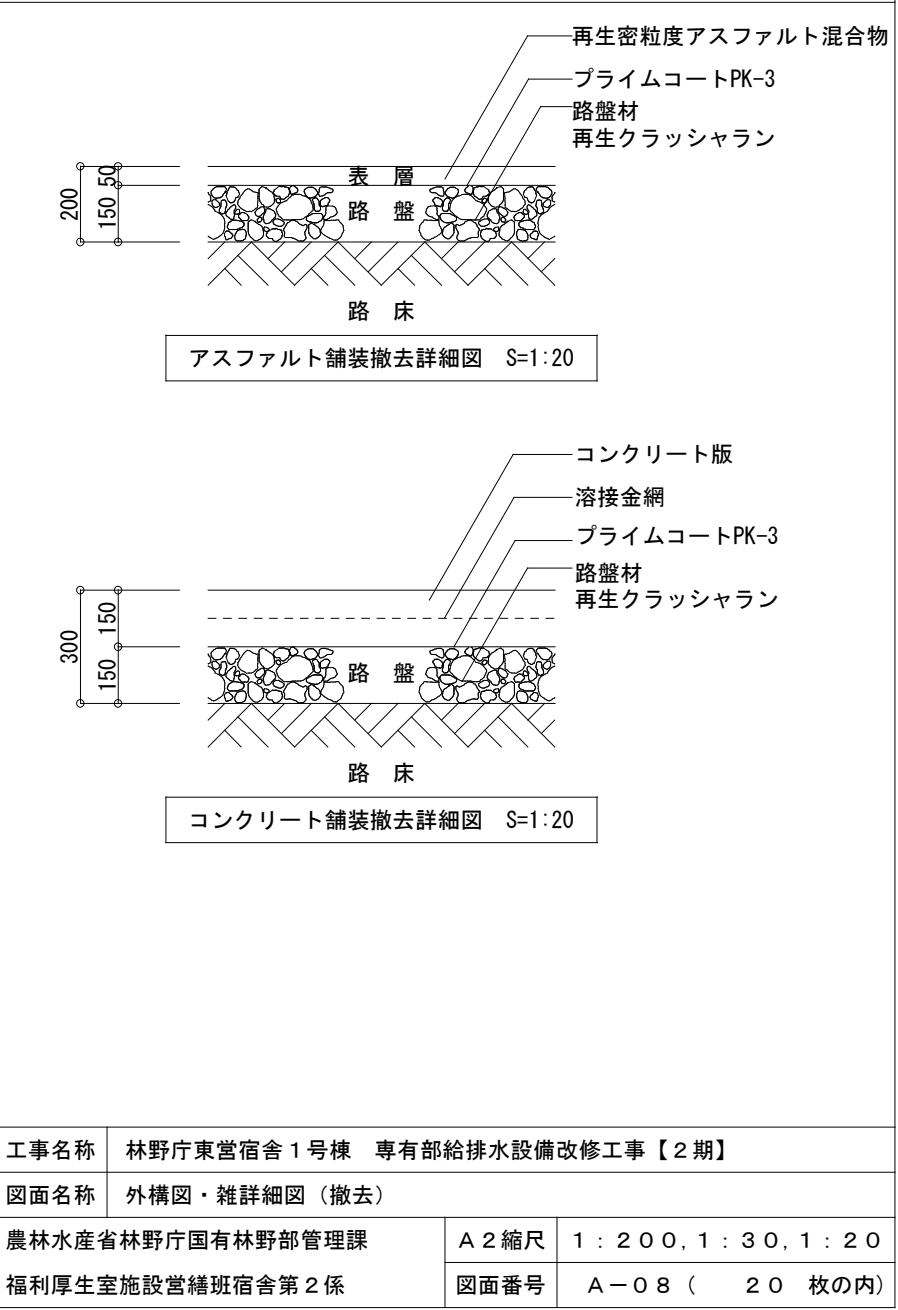
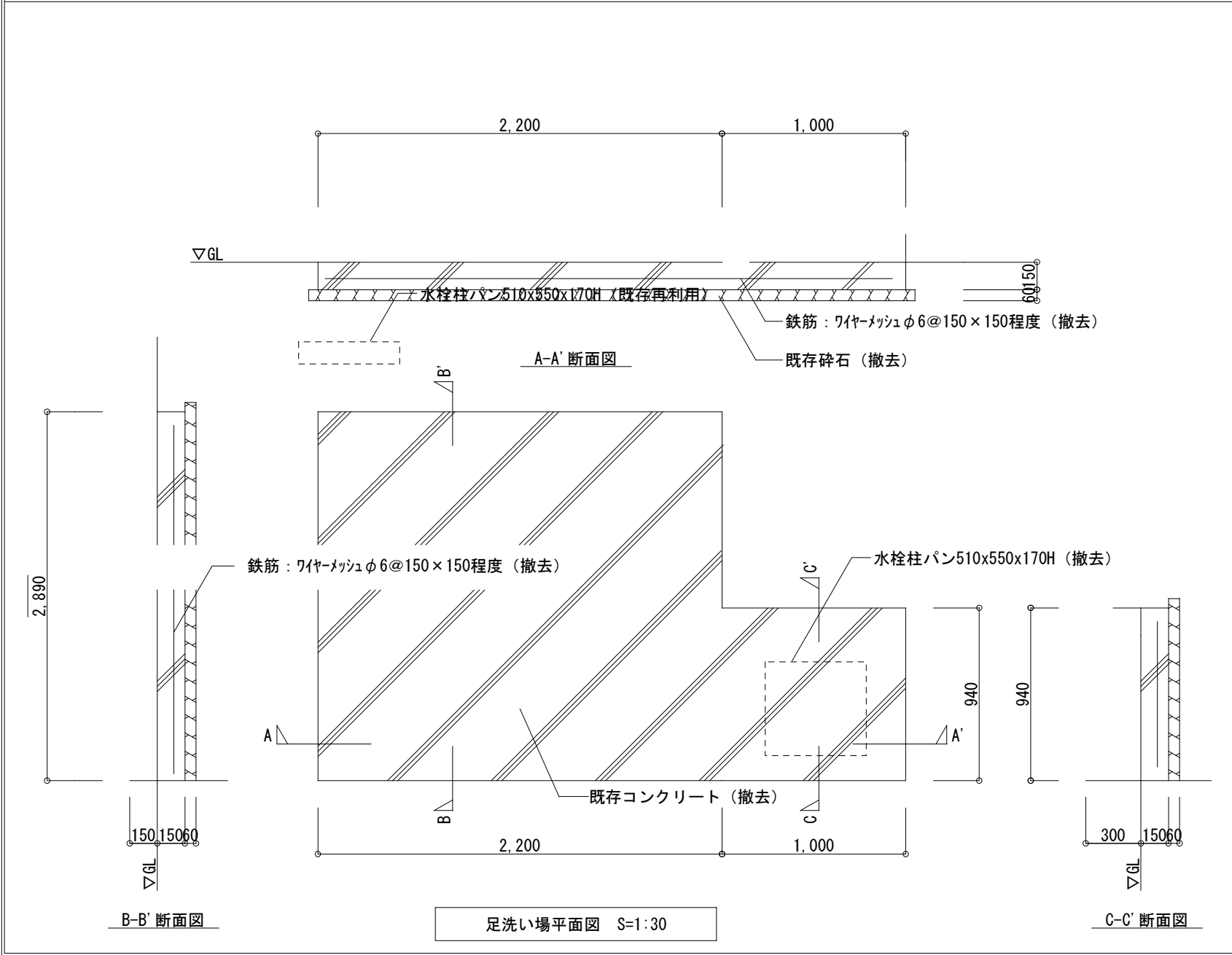
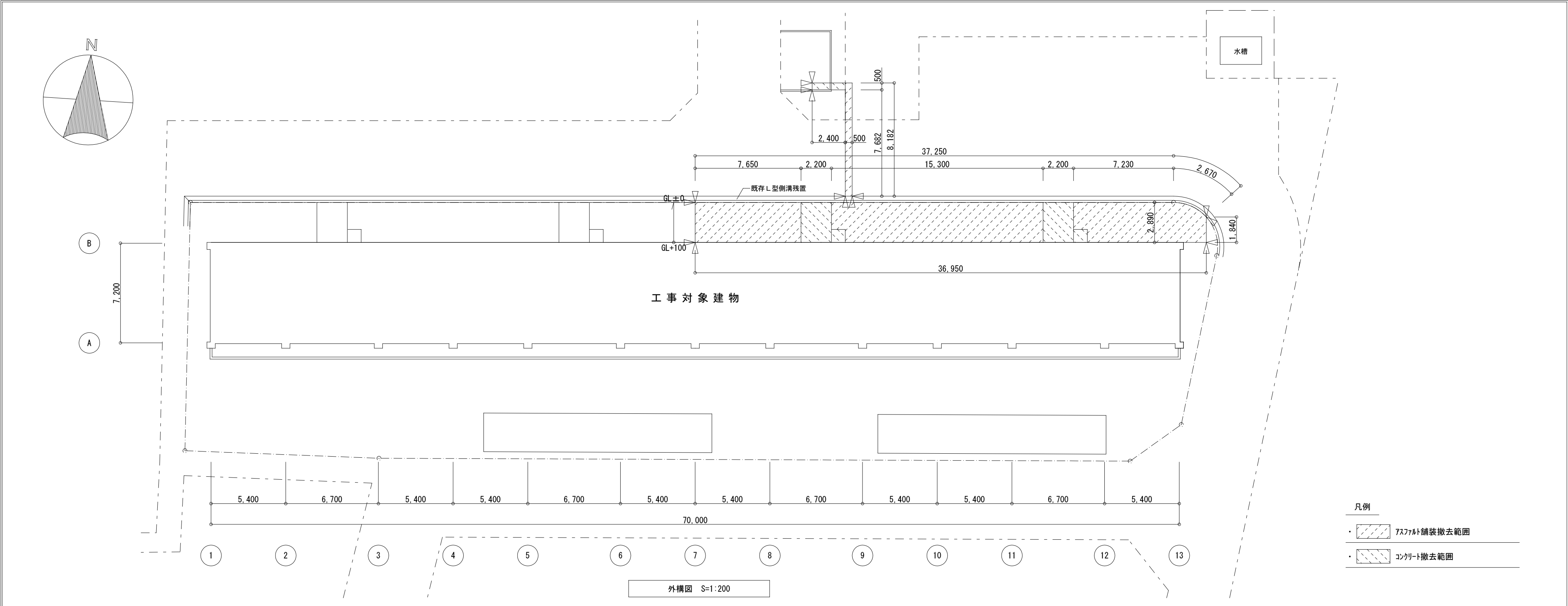
アスファルト舗装新設詳細図 S=1:20



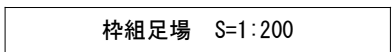
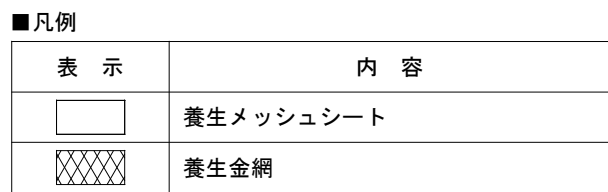
コンクリート舗装新設詳細図 S=1:20

補足事項
※騒音・粉塵等を伴う工事を行う際には、散水や防音バツによる対策を採ること。
※使用材料 新設鉄筋：D16以下 SD295A D19以上 SD345
※使用材料 新設コンクリート強度Fc=18N/mm2

工事名称	林野庁東営宿舍1号棟 専有部給排水設備改修工事【2期】		
図面名称	外構図・雑詳細図(改修)		
農林水産省林野庁国有林野部管理課	A2縮尺	1:200, 1:30, 1:20	
福利厚生室施設営繕班宿舍第2係	図面番号	A-07 (20 枚の内)	



工事名称	林野庁東営宿舍1号棟 専有部給排水設備改修工事【2期】		
図面名称	外構図・雑詳細図（撤去）		
農林水産省林野庁国有林野部管理課	A2縮尺	1：200, 1：30, 1：20	
福利厚生室施設営繕班宿舍第2係	図面番号	A-08 (20 枚の内)	



共用部	既存部分（床）	ビニルシート等
	既存部分（壁）	コーナークガード
専有部	既存部分（床）	養生板
	既存部分（壁）	コーナークガード、ブラベニア

- ・既存家具等の養生 ビニルシート等
 - ・共用部及び専有部は上記の養生を行い、工事完了時には養生撤去の上、備品の復旧を行う事。
 - ・使用前の現状確認を十分に行之、事前に破損等の確認を行うこと。確認後は写真報告を監理者、発注者に行った上で養生を着手すること。
 - ・養生不十分による汚れ、破損が認められた場合、請負者で清掃及び修繕を行うこと。
- ※工事完了後に上記が確認された場合の追加、清算は行わないものとする。

工事名称	林野庁東営倉舎 1 号棟 専有部給排水設備改修工事【2 期】		
図面名称	仮設計画図		
農林水産省林野庁国有林野部管理課	A 2 縮尺	1 : 2 0 0	
福利厚生室施設整備班宿舍第 2 係	図面番号	A-0 9 (2 0 枚の内)	